

鹿児島県立鹿児島南高等学校

令和6年度

鹿南高魂育成のための
教育活動計画

普通科

令和6年度 鹿南高魂育成のための教育活動計画内容一覧

(目次)

シラバス内容		内容の掲載ページ		
		普通科	商業・情報処理科	体育科
1.教育目標等		p.1 (全学科共通)		
2.ループリック		p.2 (全学科共通)		
3.年間教育活動計画	1年	pp.3-4 (全学科共通)		
	2年	pp.5-6 (全学科共通)		
	3年	pp.7-8 (全学科共通)		
4.学習活動計画	国語	pp.9-20	pp.9-13	pp.9-13
	社会	pp.21-34	pp.14-16	pp.14-16
	数学	pp.35-39	pp.17-19	pp.17-19
	理科	pp.40-50	pp.20-21	pp.20-22
	体育	pp.51-55	pp.22-26	pp.23-24
	芸術	pp.56-64	pp.27-29	pp.25-27
	英語	pp.65-71	pp.30-33	pp.28-30
	家庭	p.72	pp.34-35	pp.31-32
	情報	p.73	—	pp.33-34
	商業 商業・情報処理科 専門	—	pp.36-64	—
	体育 体育科 専門	—	—	pp.35-50

生徒の迎える未来＝変化の激しい未来
 (AI・ロボット・新技術の発展に伴う職業の淘汰, ライフデザインの変更, 価値観の変化)

そこで

鹿児島南高校としてのミッション: 自ら未来を切り拓く人材の育成を目指す
主体的に考え, 能動的に行動し, (独立自尊)
常にチャレンジ・進化し続け, (開拓創造)
他者と協働して社会貢献できる(協力奉仕)人材の育成をはかる

具体的には

【普通科】

多岐にわたる分野で未来をデザインし, 世界へ発信するリーダー及びチームとして協働できる人材

【商業科・情報処理科】

ビジネス・情報のスペシャリストとしての自覚を備え, グローバルに活躍するビジネスリーダー及びチームとして協働できる人材

【体育科】

日本や世界のスポーツの発展や振興, 競技力の向上のためのリーダー及びチームとして協働できる人材

学科の特性を活かした教育 “鹿児島に貢献し, そして世界へ”

必要な力

鹿児島南で身につける力＝“鹿南高魂”の育成

- 【学科共通】 **基礎力**：あいさつ・礼儀作法, 思考・実践の材料や根拠となる学力(知識), 他者との関わりで欠かせないコミュニケーション能力(聞く力も含む), 情報収集力等
- 思考力**：想像力・未来を予測する力, 課題を発見する力, 客観的に物事を見つめる力(メタ認知), 論理的思考力(筋道を立てた考え方), 情報分析力(批判的思考力(クリティカルシンキング)), 創造する力等
- 実践力**：情報発信力(ICTの利活用等), 課題を解決する力, 未来を切り拓くキャリア設計力, 主体的な行動力, 協働力(チームワーク)等

【普通科】

グローバルな視野で世界を考え, 現代社会の抱える課題を克服に導く力

【商業科・情報処理科】

経済社会・情報社会の将来に貢献する起業家精神と実行力

【体育科】

スポーツを通して地域社会や国際社会の未来に貢献する力

様々な活動を通して

育成期
1 学年

- 【共通】 新入生ガイダンス, 授業, 課外活動, 体育祭, 文化祭, クラスマッチ, ボランティア活動
 【普通科】 全国統一模試, 文理選択, GTEC受験, 総合的な探究の時間, 各種検定(数検等)
 【商業科・情報処理科】 進路マップ受験, 商業・情報関連各資格検定
 【体育科】 野外活動

充実期
2 学年

- 【共通】 授業, 課外活動, 体育祭, 文化祭, クラスマッチ, ボランティア活動, 修学旅行
 【普通科】 全国統一模試, GTEC受験, 総合的な探究の時間, 各種検定(数検等)
 【商業科・情報処理科】 進路マップ受験, インターンシップ, ビジネス関連各資格検定, ITパスポート等
 【体育科】 野外活動

発展期
3 学年

- 【共通】 授業, 課外活動, 体育祭, 文化祭, クラスマッチ, ボランティア活動, 受験勉強
 【普通科】 全国統一模試, 総合的な探究の時間, 各種検定(数検等)
 【商業科・情報処理科】 課題研究・実習, インターンシップ, ビジネス関連各資格検定, 基本情報技術者等
 【体育科】 野外活動, 課題研究

		レベル1	レベル2	レベル3	レベル4	目指す姿
基礎力	挨拶・礼儀(基礎人間力)	相手に挨拶されたら挨拶を返す。敬語が使える。	自分から積極的に挨拶をすることができる。敬語の使い分けができる。	校内はもちろん、校外においても自分に関わりのある地域の方や保護者の方々に積極的に声をかけて挨拶ができる。	校内外において、笑顔で、誰に対しても挨拶ができ、相手の心情や状況に応じた振る舞い(会釈と語先後礼の使い分け等)ができる。	
	思考・実践の材料や根拠となる学力(知識)	授業の内容を教師の説明を聞いて理解する。または定期考査で50点程度取れる。	一度授業で扱ったところの学習内容を復習等見直すことで思い出せる。または定期考査で60点程度取れる。	学習内容がしっかりと定着しており、いつでもそれを引き出すことができる。または定期考査で70点程度取れる。	普段の生活の中で学習内容をいつでも応用させることができる。または定期考査で80点以上取れる。	
	コミュニケーション能力	発表を原稿を読みながら伝える。人の話を静かに聴く。	聞き手の目を見ながら伝えることができる。相手の話を聞きながら要点を整理できる。それに感想を言える。	相手の反応に応じて適切な言葉遣いで伝えることができる。相手の話の要点をまとめ、根拠のある批評や的確な質問をすることができる。	適切な言葉遣いや話術で説得力のあるプレゼンや説明ができる。他者からの質問や批判に真摯に耳を傾け、聞かれたことに的確に答えたり、批判を論破できる。	
	情報収集力	情報源を複数持っている(ほしい情報がどこにあるか知っている)。	観察した状況から問題点や課題を考えようとする。	状況を整理して問題点や課題を他者に伝え、他者からもさらに関連する情報を得ることができる。	整理した状況から次のステップに移る手段を提案できる。	
思考力	想像力・未来を予測する力	物事や行動について、その後の結果を考える習慣が身についている。	物事や行動の結果を過去の経験や現在の状況を踏まえて考えることができる。	未知の状況を、現在とることのできる手段に応じて考えることができる。	未知の状況を、現在とることのできる手段に応じて考え、何らかのアクションを起こすことまで考えることができる。	
	課題を発見する力	自己の生活や身近な社会について改善したほうが良いと考えていることがある。	自己の生活や身近な社会から、地域社会や世界に拡張して改善したほうが良いと考えていることがある。	改善したほうが良いと考える課題の原因にまで掘り下げてその改善策を探ることができる。	課題の原因や改善策を追求する中で生じる新たな疑問を発見できる。また、改善策を多角的に検討することができる。	
	客観的に物事を見つめる力(メタ認知)	自分の学習状況の理解と不足しているものを理解している。	自分の学習に不足しているものを理解し、それを補うための行動を起こすことができる。	学習計画を立て計画的に克服のプロセスを踏んでいる。	自分の学習計画や学習方法を結果に基づいて検証し、修正を加えながらより良いものにして努力を継続できる。	
	論理的思考力	相手の意見を聞き、自分との共通点・相違点をそれぞれ理解している。	自分との共通点・相違点がそれぞれ生じている理由や根拠を言うことができる。	共通点・相違点の根拠を検討したり、他の解釈や情報の分析をして、見解が異なる理由を説明できる。	自分と異なる見解を認めたり、他の視点からの情報を論理的に分析したりしている。さらに、根拠に基づいた多角的な視点で探究している。	
	情報分析力(批判的思考力(クリティカルシンキング))	日常生活の中で『なぜ?』という問いかけをするようにしている。	感じた疑問の解決策を、自分の今現在持っている情報をもとに考えることができる。	感じた疑問の解決策を、複数の情報に基づいて吟味した上で取捨選択し、総合的に考えることができる。	感じた疑問の解決策を考える中で生じる新たな疑問に対して、同様に批判的な情報吟味によって解決策を考え提案できる。	
	創造する力	自分の考えを持っている。	新しく学んだことや他者の意見・様々なアイデアを活用しようとするることができる。	積極的に求めて得た複数の意見・アイデア・計画を統合し、独自のアイデアを考えることができる。	独創的なアイデアや計画を創造し、他者とともにそれを実現しようとする。	
実践力	情報発信力	伝えたいことを自分の中で思いついている。	伝えたいことを一方的に相手に伝えることができる。	伝えたいことを、最も効果的な伝達手段を考えて、それにしたがって伝えることができる。	相手に伝えたいことを聞きながら、さらに情報を修正整理して伝えることができる。	
	課題を解決する力	課題の存在やその内容を理解している。	課題の原因や背景を追究し、解決するプロセスを提案できる。	原因を追究し、解決する様々なプロセスを検討し、1つ以上の解決策を提案する。実行可能性についても検討することができる。	原因追究に基づいて解決策を提案し、実行可能性や解決のメリット・デメリットについて幅広く考えることができる。	
	未来を切り拓くキャリア設計力	働くことの意味を理解している(職業観の育成がなされている)。将来の進路について考えている。	自己の適性を理解しようとして、進路についての情報を集めたり等して積極的に模索している。	希望する進路に向けて、自らの進路を切り拓くための課題(学力や教科バランス等)を理解している。	将来の夢の実現のために希望する進路や自己の適性を把握し、進路実現に向けて自らの課題を克服する努力を継続している。	
	主体的な行動力	言われたことを、言われたことの意味を理解したうえで言われたとおり実行する。	言われたことをそのままではなく自分なりの改善を加えて実行できる。また、自分の経験からとるべき行動を考えることができる。	自分がとるべき行動を周囲の状況から判断して自発的にとることができる。チームやメンバーの作業の進捗状況からスケジュール・締切に応じたタイムマネジメントができる。	周囲を巻き込みながら自発的な活動を拡大していくことができる。チームやメンバーの能力や適性に応じて作業を割り振り、適宜必要な修正を加えながら完成まで導く。	
	協働力(チームワーク)	身近なメンバーに助けを求めたり、支援したりできる。	課題解決に向けて行動計画を示したり、他者の提案を受け入れたりし、メンバーに対して肯定的な話し方や表情で接することができる。	課題解決に向けて新たな提案や代替的な考えを示すことができる。メンバーのモチベーションを上げて前進を助ける。	チームで課題解決した成果や手ごたえが持てる。また、チームメンバーがその課題を卓越したレベルで完成するのを率先して支援することができる。	
普通科	グローバルな視野で世界を考え、現代社会の抱える課題を克服に導く力	基礎力レベル2程度 思考力レベル1程度 実践力レベル1程度 地域社会も含む世界に興味関心がある。	基礎力レベル3程度 思考力レベル2程度 実践力レベル2程度 世界の情報や知識を自分のできる範囲の努力で得ている。	基礎力レベル3以上 思考力レベル3程度 実践力レベル2程度 世界各地が抱える具体的な課題に対して原因を知り、自分の意見を持っている。	基礎力レベル3以上 思考力レベル3以上 実践力レベル3以上 世界が抱える具体的な課題に自分自身がそれに対してどう行動すればよいか考え、行動に移している。	
	商業処理科 経済社会・情報社会の将来に貢献する起業家精神と実行力	基礎力レベル2程度 思考力レベル1程度 実践力レベル1程度 【観る力】相手の立場や考えを尊重し、その形成過程等を的確に捉えることができる。	基礎力レベル3程度 思考力レベル2程度 実践力レベル2程度 【きく力】過不足なく聞き取り(聞く)、話を引き出し(聴く)、根拠適否を確かめるための適切な質問(訊く)ができる。	基礎力レベル3以上 思考力レベル3程度 実践力レベル2程度 【伝える力】要点をまとめ、簡潔に話し、相手に印象づけるために抑揚をつけて話ができる。	基礎力レベル3以上 思考力レベル3以上 実践力レベル3以上 【感じる力】相手の心情を察知し、会話等をおし、相手をよりよく知ることができる。	
体育科	スポーツを通して地域社会や国際社会の未来に貢献する力	基礎力レベル2程度 思考力レベル1程度 実践力レベル1程度 生涯スポーツに向けて、運動やスポーツの技能を高めたり、健康的な生活習慣を身につけたりしている。	基礎力レベル3程度 思考力レベル2程度 実践力レベル2程度 健康やスポーツを社会の中で考えていける力を身につけている。	基礎力レベル3以上 思考力レベル3程度 実践力レベル2程度 自らの競技力向上だけでなく、チームや他者の競技力向上にも適切な援助ができる。	基礎力レベル3以上 思考力レベル3以上 実践力レベル3以上 競技者としてだけでなく指導者としてふさわしい資質を身につけている。	

他者と協働して社会貢献できる(協力奉仕)常にチャレンジ・進化し続け、(開拓創造)主体的に考え、能動的に行動し、(独立自尊)自ら未来を切り拓く

学期	月	担当部署	企画名	基礎力			思考力					実践力					活動内容等 Classilにアップ	
				間接力 (挨拶・礼儀 ・基礎人 間)	思考・実践の 材料となる 学力(知識 ・根拠)	コミュニケーション 能力	想像力・未来を 予測する力	課題を発見する 力	客観的に物事を見 つめる力(メタ認知)	論理的思考力	情報分析力(批判 的シンキング)	創造する力	情報発信力	課題を解決する 力	リ未来を切り拓く 力	主体的な行動力		協働力 (チームワーク)
学期目標 未来の自分や社会を考える。																		
一年生(育成期(基礎力養成期))	二学期	9	教務	始業式・大掃除	○	○	○	○	○									
			教務	全校朝礼	○	○	○	○	○									
			学年	学年別朝礼	○	○	○	○	○									
			学科	学科別朝礼	○	○	○	○	○									
			生指	頭髪服装指導	○					○								
			進路	課題実力調査		○								○			事前・事後感想記入	
			それぞ	体育祭練習・予行・会場設置	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	事前・事後感想記入
			体育	体育祭	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	事前・事後感想記入
			高情	全商英検		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
		学級・部	文化祭準備	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
		体育	体育科野外活動	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
		高情	全商情報処理検定		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
		生指	文化祭	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	事前・事後感想記入	
		生指	学校生活アンケート															
		教務	全校朝礼	○	○	○	○	○	○									
		学年	学年別朝礼	○	○	○	○	○	○									
		学科	学科別朝礼	○	○	○	○	○	○									
		生指	頭髪服装指導	○	○	○	○	○	○									
	教務	中間考査		○	○	○	○	○								事前・事後感想記入		
	教務	芸術鑑賞会	○	○	○	○	○	○								感想記入		
	生指	交通安全教室	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			
	高情	1・2年ビジネスマナー講座		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			
	進路	対外模試(普通科)		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	事前・事後感想記入		
	進路	進路マップ(高情)		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	事前・事後感想記入		
	生指	学校生活アンケート																
	教務	全校朝礼	○	○	○	○	○	○										
	学年	学年別朝礼	○	○	○	○	○	○										
	学科	学科別朝礼	○	○	○	○	○	○										
	生指	頭髪服装指導	○	○	○	○	○	○										
	学指	普通科文理選択		○	○	○	○	○	○	○						感想記入		
	体育	持久走大会	○	○	○	○	○	○	○	○								
	高情	全商ビジネス計算実務検定		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			
	保健	歯科講話	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	ワークショップ・感想記入		
	高情	日商簿記検定		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			
	生指	校内読書会		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			
	高情	全商ビジネス文書実務検定		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			
進路	第2回学習時間調査		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○				
教務	期末考査		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	事前・事後感想記入			
保健	防火防災訓練	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○				
家庭	家庭クラブボランティア	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	感想記入			
教務	全校朝礼	○	○	○	○	○	○											
学年	学年別朝礼	○	○	○	○	○	○											
学科	学科別朝礼	○	○	○	○	○	○											
生指	頭髪服装指導	○	○	○	○	○	○											
進路	GTEC英語検定試験		○	○	○	○	○								事前・事後感想記入			
高情	全商英検		○	○	○	○	○											
保健	救急法実習	○	○	○	○	○	○								感想記入			
家庭	認知症サポーター養成講習会	○	○	○	○	○	○								感想記入			
進路	2学期の反省と3学期の決意	○	○	○	○	○	○								感想記入			
教務	大掃除・終業式	○	○	○	○	○	○											
進路	冬季課外	○	○	○	○	○	○											
学期目標 1年間の総まとめと2年生への準備(育成期(基礎力養成期)→充実期(思考力養成期)への移行)。																		
一年生(基礎力養成期総まとめ→思考力養成期への移行期)	一学期	1	教務	始業式・大掃除	○	○	○	○										
			教務	全校朝礼	○	○	○	○	○									
			学年	学年別朝礼	○	○	○	○	○									
			学科	学科別朝礼	○	○	○	○	○									
			生指	頭髪服装指導	○	○	○	○	○									
			進路	課題実力調査		○								○			事前・事後感想記入	
			生指	教育相談	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	事前・事後感想記入
			進路	対外模試(普通科)		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	事前・事後感想記入
			高情	全商情報処理検定		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	生指	学校生活アンケート																
	教務	全校朝礼	○	○	○	○	○	○										
	学年	学年別朝礼	○	○	○	○	○	○										
	学科	学科別朝礼	○	○	○	○	○	○										
	生指	頭髪服装指導	○	○	○	○	○	○										
	高情	全商商業経済検定		○	○	○	○	○										
	生指	安全教室	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	感想記入		
	教務	学年末考査	○	○	○	○	○	○								事前・事後感想記入		
	高情	日商簿記検定		○	○	○	○	○										
	教務	全校朝礼	○	○	○	○	○	○										
	学年	学年別朝礼	○	○	○	○	○	○										
	学科	学科別朝礼	○	○	○	○	○	○										
	生指	頭髪服装指導	○	○	○	○	○	○										
	教務	3年生卒業式	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	(事前・事後感想記入)		
	教務	自宅学習期間	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			
	生指	クラスマッチ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			
	進路	スタサポ(普通科)		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	感想記入		
	進路	合格体験を聞く会		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	感想記入		
	進路	3学期と1年間の反省		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			
	教務	修了式	○	○	○	○	○	○										
	教務	羅任式	○	○	○	○	○	○										

使用教科書	『現代の国語』 (東京書籍)	副教材等	『書いて覚えて実践する 高校生の語彙と漢字』(桐原書店)・国語辞典
学習の到達目標		言語による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を養う。	

学期	月	単元名	基礎力				思考力				実践力				活動内容・評価規準	
			力挨拶・礼儀(基礎人間)	思考・実践の材料や根拠となる学力(知識)	コミュニケーション能力	情報収集力	想像力・未来を予測する力	課題を発見する力	客観的に物事を見つめる力(メタ認知)	論理的思考力	情報分析力(批判的・創造的)	情報発信力	課題を解決する力	設計力を切り拓くキャリア		主体的な行動力
一年(基礎力養成期)	4	〈読解編〉 「木を見る、森を見る」	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	[知技] 評論を読むために必要な語彙を身に付け、話や文章の中で使えるようになる。 [思判表] 表現や構成に注意して読み、筆者の主張を読み取ることができるようになる。
	5	〈探究編〉 「本を紹介する」	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	[知技] 図書館の利用法を理解し、活用できるようになる。 [主] 本を紹介するために、説明の仕方を考えて話すようにする。 [知技] 二項対立の表現に注意して読み、内容を整理できるようにする。 [思判表] 筆者のものの見方や考え方を読み取り、日本文化の特徴について理解を深める。
	6	〈読解編〉 「身銭」を切るコミュニケーション	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	[知技] 具体的な例示と筆者の意見に注意して読むことができるようになる。 [思判表] 筆者独自の表現に注意して読み、コミュニケーションのあり方について考えを深める。
	7	〈探究編〉 「1 課題の設定」	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	[知技] 思考や発想を広げるための方法を知り、実践できるようにする。 [主] 設定した課題について考えを整理し、意見をまとめられるようにする。
一年(基礎力養成期)	9	〈読解編〉 「時間と自由の関係について」	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	[知技] 文章の構成や展開に注意して読むことができるようになる。 [思判表] 時間と自由の関係について筆者の主張を的確に読み取り、自分に引き寄せて考えを深める。
	10	「真の自立とは」	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	[知技] 評論を読むために必要な語彙の獲得に努め、事例と意見を整理して読解できるようにする。 [思判表] 自立のあり方についての考察を読み、自分の考えを持ち、視野を広げる。
	11	〈探究編〉 「2 情報の収集」	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	[知技] メディアの性質を知り、活用して情報収集できるようにする。 [主] 集めた情報を吟味し、伝えたいことを整理して、意見をまとめられるようにする。
	12	〈読解編〉 「生物の多様性とは何か」	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	[知技] 構成や展開に注意して、内容を読み取ることができるようになる。 [思判表] 「生物多様性」がなぜ重要なのか、筆者の主張に沿って理解を深める。 [主] 評論文を積極的に読み、現代社会の問題を捉えて自分の考えをまとめられるようにする。
一年(思考力養成期)	1	〈読解編〉 「学ぶことと人間の知恵」	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	[知技] 関連教材「人工知能はなぜ椅子に座れないのか」と読み比べ共通点と相違点を整理できるようになる。 [知技] 引用の役割に注意しながら読むことができるようになる。 [思判表] 物事を見つめる視点の重要性について理解を深める。 [主] 筆者の主張をふまえ、自分の考えをまとめられるようにする。
	2	「鳥の眼と虫の眼」	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	[知技] 異なる主張の文章を読み比べ、違いを整理し他者に説明できるようになる。
	3	〈探究編〉 「3 整理・分析」	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	

	評価の観点内容	評価方法
知識・技能	実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けている。	・知識や技能の習得を問う小テスト ・定期調査や課題実力調査
思考・判断・表現	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。	・ワークシート ・話し合い活動や発表 ・定期調査や課題実力調査
主体的に学習に取り組む態度	言葉を通して積極的に他者や社会に関わったり、読書に親しむことで自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもとうとしている。	・ノートの記入状況 ・課題の取り組み状況 ・話し合い活動や発表の状況

使用教科書	『高等学校言語文化』(数研出版)	副教材等	『高校生の語彙と漢字』『新明説総合古典文法』『新明説漢文』 古語辞典
学習の到達目標	国語の知識や技能を身に付け、我が国の言語文化に対する理解を深め、論理的思考力や共感力・想像力を伸ばし、伝え合う力を高め、自分の思いや考え、言葉がもつ価値への認識を深め、読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。		

学期	月	単元名	基礎力			思考力				実践力				活動内容・評価規準			
			力挨拶・礼儀(基礎人間)	思考・実践(知識や技能)	コミュニケーション能力	情報収集力	想像力・未来を予測する力	課題を発見する力	力客観的に物事を見つめる力	論理的思考力	情報分析力(批判的思考)	創造する力	情報発信力		課題を解決する力	設計力を切り拓くキャリア	主体的な行動力
一年(基礎力養成期)	4	古文入門 「兄のそら寝」	○	○													[知技]・古典を読むために必要なまじりや古典特有の表現などについて理解できるようになる。 [思判表]・「読むこと」において、作品の成立した背景や経緯等を知り、古語と現代語の言葉とのつながりについて理解できるようになる。 [知技]・比喩などの修辞について理解を深めている。 [思判表]・登場人物の心情の変化を、場面の展開に即して読み取り、主題について考えをまとめられるようになる。 [知技]・古典の世界に親しむために、文語のきまりや訓読のきまり、特有の表現等を学ぶ。 [思判表]・「読むこと」において、作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈できるようになる。 [知技]・訓読の決まりを理解し、読むことが出来るようになる。 [思判表]・現在用いられる故事成語の多くが漢文に由来することを踏まえたうえで、故事成語の成り立ちへの理解を深める。
	5	漢文入門 「入門一」「入門二」	○	○													
	6	羅生門	○	○			○							○			
	7	徒然草 「神無月のころ」 戦国策 「漁夫之利」	○	○					○	○	○	○			○		
一年(基礎力養成期)	9	伊勢物語「芥川」	○	○					○	○	○				○		[主]・歌物語の特徴を理解し、その表現の手法やテーマに沿って、各章段に描かれた内容を的確に捉えることができるようになる。 [主]・日本語と漢文で異なる意味をもつことを知り、本文に合わせて説明できるようになる。 [思判表]・小説表現の面白さを味わいながら、登場人物の行動や心情を読み取り、考察する。 [知技]・古典の世界に親しみ、作品や文章の歴史的・文化的背景などを理解できるようになる。 [主]・話の展開や登場人物の言動を読み取り、十八史略の面白さを味わう。
	10	漢詩「静夜思」「送元二使安西」「登高」	○	○											○		
	11	側転と三夏 枕草子 「ありがたきもの」	○	○												○	
	12	十八史略「鶏口牛後」	○	○												○	
一年(思考力養成期)	1	山月記	○	○												○	[知技]・歴史や漢文の知識などを踏まえつつ、現代の小説として読解できるようにする。 [思判表]・登場人物の行動や心理を読み取り、考察を深める。 [知技]・本文の表現の特色を理解し、学習課題に沿って、作品に込められた意図を考えることができるようになる。 [主]・自分のものの見方、考え方を深め、学習課題に沿って、「論語」を読んで、孔子の学問観・人間観・政治観について考えたり、「論語」の注釈を読んで、自分の考えを伝え合うことができるようになる。
	2	土佐日記「門出」	○	○												○	
	3	「論語」	○	○	○											○	
			評価の観点内容										評価方法				
知識・技能			生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようになったか。										・知識や技能の習得を問う小テスト ・定期考査や課題実力考査				
思考・判断・表現			論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができたか。										・ワークシート ・話し合い活動や発表 ・定期考査や課題実力考査				
主体的に学習に取り組む態度			言葉がもつ価値への認識を深め、読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養えたか。										・ノートの記入状況 ・課題の取組状況と提出状況 ・授業、話し合い活動、発表での態度				

使用教科書	東京書籍『精選論理国語』	副教材等	浜島書店『パスワード級別漢字』, 国語辞典
学習の到達目標		国語の知識や技能を身に付け、我が国の言語文化に対する理解を深め、論理的思考力や共感力・想像力を伸ばし、伝え合う力を高め、自分の思いや考え、言葉がもつ価値への認識を深め、読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。	

学年	学期	月	単元名	基礎力			思考力					実践力				活動内容・評価規準						
				力挨拶・礼儀(基礎人間)	思考・実践の材料や根拠となる学力(知識)	コミュニケーション能力	情報収集力	想像力・未来を予測する力	課題を発見する力	力客観的に物事を見つめる(メタ認知)	論理的思考力	情報分析力(批判的・創造的)	創造する力	情報発信力	課題を解決する力		設計力	未来を切り拓くキャリア	主体的な行動力	協働力(チームワーク)		
二年(基礎力養成期)	一学期	4	「いつもそばには本があった」 「ミロのヴィーナス」 「相手依存の自己規定」 「科学的『発見』とは」	○	○	○		○	○	○	○									[知技]・評論を読むために必要な語彙を身に付け、論理の構造について理解できるようになる。 [思判表]・表現の特徴に気をつけながら筆者の主張を読み取ることができるようになる。 [知技]・具体的な事例と筆者の意見の関係を注意して読むことができるようになる。 [思判表]・作者のものの見方、感じ方、考え方を読み取り、言語と自我の構造について考えを深める。 [知技]・本文中の二つの課題点を追体験しながら読めるようにする。 [思判表]・筆者の主張を的確に読み取り、科学的視点のちち方とその意義を理解する。 [主]・評論文を積極的に読み、根拠を確かめながら筆者の主張を捉えようとしている。		
		9		「分人とは何か」 「メディアの変容」 「『リスク』と『リスク社会』」 「『環境』とは何か」	○	○			○	○	○	○										[知技]・提示された問いに注意して読む。挙げられた事例と筆者の分析の関係を注意する。 [思判表]・筆者の主張を理解し、自分に引き寄せて考える。人間関係のあり方について考えを深める。 [知技]・対比に注意して論の展開をつかめるようにする。 [思判表]・「リスク」という概念について理解を深め、自分の意見をもてるようにする。 [知技]・「環世界」などの概念を理解できるようにする。 [思判表]・論理展開に留意しながら的確に筆者の主張を理解し、環境について理解を深める。 [主]・学術的な概念を扱った評論文を読み、積極的に内容を理解しようとしている。
		10			○	○			○	○	○	○										
11	○	○				○	○	○	○													
二年(思考力養成期)	二学期	12	「『環境』とは何か」	○	○			○	○	○	○									[知技]・例示と意見の関係を整理して読解できるようにする。 [思判表]・筆者の主張を理解し、変化する社会における人間のあり方について考えを深める。 [知技]・筆者の提示する問題を読み取って整理できるようにする。 [思判表]・筆者の「スポーツ」についての見方、感じ方、考え方を読み取り、メディアとの関係について理解を深める。 [知技]・図版を適切に参照し、本文中の対比を捉えることができるようになる。 [思判表]・作者のものの見方、感じ方、考え方を読み取り、日本と西欧の美意識の違いを理解する。 [主]・筆者の主張をふまえ、自分の考えをまとめられるようにする。		
		1	「『である』ことと『する』こと」	○	○	○		○	○	○	○											
		2	「消費されるスポーツ」	○	○	○		○	○	○	○											
二年(応用力養成期)	三学期	3	「日本人の美意識」	○	○			○	○	○	○									[知技]・図版を適切に参照し、本文中の対比を捉えることができるようになる。 [思判表]・作者のものの見方、感じ方、考え方を読み取り、日本と西欧の美意識の違いを理解する。 [主]・筆者の主張をふまえ、自分の考えをまとめられるようにする。		
				○	○			○	○	○	○											

	評価の観点内容	評価方法
知識・技能	生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようになったか。	・知識や技能の習得を問う小テスト ・定期調査や課題実力考査
思考・判断・表現	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができたか。	・ワークシート ・話し合い活動や発表 ・定期調査や課題実力考査
主体的に学習に取り組む態度	言葉がもつ価値への認識を深め、読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養えたか。	・ノートの記入状況 ・課題の取組状況と提出状況 ・授業、話し合い活動、発表での態度

使用教科書	東京書籍『精選論理国語』	副教材等	浜島書店『パスワード級別漢字』, 国語辞典
学習の到達目標	国語の知識や技能を身に付け、我が国の言語文化に対する理解を深め、論理的思考力や共感力・想像力を伸ばし、伝え合う力高め、自分の思いや考え、言葉がもつ価値への認識を深め、読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。		

学年	学期	月	単元名	基礎力			思考力					実践力					活動内容・評価規準		
				力挨拶・礼儀(基礎人間)	思考・実践の材料や根拠となる学力(知識)	コミュニケーション能力	情報収集力	想像力・未来を予測する力	課題を発見する力	力客観的に物事を見つめる力(メタ認知)	論理的思考力	情報分析力(批判的シンク)	創造する力	情報発信力	課題を解決する力	設問を切り拓くキャリア		主体的な行動力	協働力(チームワーク)
二年(基礎力養成期)	一学期	4	「いつもそばには本があった」 「ミロのヴィーナス」	○	○	○		○	○	○	○								[知技]・評論を読むために必要な語彙を身に付け、論理の構造について理解できるようになる。 [思判表]・表現の特徴に気をつけながら筆者の主張を読み取ることができるようになる。 [知技]・具体的な事例と筆者の意見の関係に注意して読むことができるようになる。 [思判表]・作者のものの見方、感じ方、考え方を読み取り、言語と自我の構造について考えを深める。 [知技]・本文中の二つの課題点を追体験しながら読めるようにする。 [思判表]・筆者の主張を的確に読み取り、科学的視点の持ち方とその意義を理解する。 [主]・評論文を積極的に読み、根拠を確かめながら筆者の主張を捉えようとしている。
		6	「相手依存の自己規定」	○	○			○	○	○	○								
		7	「科学的『発見』とは」	○	○			○	○	○	○								
二年(思考力養成期)	二学期	9	「分人とは何か」 「メディアの変容」	○	○			○	○	○	○								[知技]・提示された問いに注意して読む。挙げられた事例と筆者の分析の関係に注意する。 [思判表]・筆者の主張を理解し、自分に引き寄せて考える。人間関係のあり方について考えを深める。 [知技]・対比に注意して論の展開をつかめるようにする。 [思判表]・「リスク」という概念について理解を深め、自分の意見をもてるようにする。 [知技]・「環世界」などの概念を理解できるようにする。 [思判表]・論理展開に留意しながら的確に筆者の主張を理解し、環境について理解を深める。 [主]・学術的な概念を扱った評論文を読み、積極的に内容を理解しようとしている。
		11	「『リスク』と『リスク社会』」	○	○			○	○	○	○								
		12	「『環境』とは何か」	○	○			○	○	○	○								
二年(応用力養成期)	三学期	1	「『である』ことと『する』こと」	○	○	○		○	○	○	○								[知技]・例示と意見の関係を整理して読解できるようにする。 [思判表]・筆者の主張を理解し、変化する社会における人間のあり方について考えを深める。 [知技]・筆者の提示する問題を読み取って整理できるようにする。 [思判表]・筆者の「スポーツ」についての見方、感じ方、考え方を読み取り、メディアとの関係について理解を深める。 [知技]・図版を適切に参照し、本文中の対比を捉えることができるようにする。 [思判表]・作者のものの見方、感じ方、考え方を読み取り、日本と西欧の美意識の違いを理解する。 [主]・筆者の主張をふまえ、自分の考えをまとめられるようにする。
		2	「消費されるスポーツ」	○	○	○		○	○	○	○								
		3	「日本人の美意識」	○	○			○	○	○	○								

	評価の観点内容	評価方法
知識・技能	生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようになったか。	・知識や技能の習得を問う小テスト ・定期調査や課題実力調査
思考・判断・表現	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができたか。	・ワークシート ・話し合い活動や発表 ・定期調査や課題実力調査
主体的に学習に取り組む態度	言葉がもつ価値への認識を深め、読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養えたか。	・ノートの記入状況 ・課題の取組状況と提出状況 ・授業、話し合い活動、発表での態度

使用教科書	大修館書店『精選古典探究』	副教材等	「新明説総合古典文法」・「新明説漢文」・「古語辞典」・「漢和辞典」
学習の到達目標		国語の知識や技能を身に付け、我が国の言語文化に対する理解を深め、論理的思考力や共感力・想像力を伸ばし、伝え合う力を高め、自分の思いや考え、言葉がもつ価値への認識を深め、読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。	

学期	月	単元名	基礎力			思考力					実践力				活動内容・評価規準		
			挨拶・礼儀 (基礎人間力)	な思考・実践の 力(知識)	コミュニケー ション能力	情報取 集力	想像力・未 来を予測する 力	課題を発見 する力	客観的に物 事を見つめる 力	論理的思考 力	情報分析力 (批判的 思考力)	創造する 力	情報発信 力	課題を解決 する力		計画を切り 拓くキャ リア設 計力	主体的な 行動力
一年(基礎力養成期)	4	宇治拾遺物語「検非違使忠明のこと」十訓抄「大江山いくの道」	○	○													[知技]・古典を読むために必要なまじりや古典特有の表現などについて理解できるようになる。 [思判表]・古語および漢語と、現代語の言葉とのつながりについて理解できるようになる。
	5	徒然草「家居のつきづきしく」「今日はそのことをなさんと思へど」	○	○													[知技]・随想の鑑賞方法を習得し、歴史的・文化的背景などを理解できるようになる。 [思判表]・作者のものの見方、感じ方、考え方を読み取ることができるようになる。 [主]・筆者の心情を読み取り、現代にも通じる価値観について理解を深めようとしている。
	7	故事・逸話「塞翁馬」漢詩「竹里館」他	○	○													
二年(思考力養成期)	9	伊勢物語「月やあらぬ」「つひにゆく道」	○	○													[知技]・古語や漢語、古典文法や句法を踏まえて的確な口語訳ができるようにする。 [思判表]・筆者のものの見方、考え方を的確に理解する。
	10	文章「桃花源記」	○	○													[知技]・語句や文法、句法を活用し、的確な現代語訳ができるようにする。 [思判表]・登場人物の行動や心理、状況を的確に把握し、読解を深める。
	11	枕草子「すさまじきもの」「中納言参りたまひて」史記「鴻門の会」	○	○													
三年(応用力養成期)	1	源氏物語「玉の男皇子」	○	○	○												[知技]・古典の世界に親しみ、作品や文章の歴史的、文化的背景などを理解できるようになる。 [思判表]・作者のものの見方、感じ方、考え方を読み取ることができるようになる。
	2	思想「論語」「孟子」「老子」「莊子」「韓非子」	○	○	○												[知技]・古代中国の歴史や時代背景を理解しながら、諸子百家の思想について理解する。 [思判表]・それぞれの思想における人間観や社会観を比較しながら的確に読み取る。 [主]・自らの人間観・世界観を深める。
	3	更級日記「門出」「源氏の五十余巻」	○	○													

	評価の観点内容	評価方法
知識・技能	生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようになったか。	・知識や技能の習得を問う小テスト ・定期考査や課題実力考査
思考・判断・表現	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができたか。	・ワークシート ・話し合い活動や発表 ・定期考査や課題実力考査
主体的に学習に取り組む態度	言葉がもつ価値への認識を深め、読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養えたか。	・ノートの記入状況 ・課題の取組状況と提出状況 ・授業、話し合い活動、発表での態度

使用教科書	大修館書店『精選古典探究』	副教材等	「新明説総合古典文法」・「新明説漢文」・「古語辞典」・「漢和辞典」
学習の到達目標		国語の知識や技能を身に付け、我が国の言語文化に対する理解を深め、論理的思考力や共感力・想像力を伸ばし、伝え合う力を高め、自分の思いや考え、言葉がもつ価値への認識を深め、読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。	

学期	月	単元名	基礎力			思考力					実践力				活動内容・評価規準				
			挨拶・礼儀(基礎人間力)	思考・実践の材料や模範となる学力(知識)	コミュニケーション能力	情報収集力	想像力・未来を予測する力	課題を発見する力	(客観的に物事を見つめる力)	メタ認知	論理的思考力	情報分析力(批判的思考力)	情報発信力	創造する力		課題を解決する力	計画的な行動力	主体的な行動力	(協働力)
二年(基礎力養成期)	一学期	4 5	十訓抄「大江山いくのの道」 故事・逸話「知音」	○	○														[知技]・古典を読むために必要なまじりや古典特有の表現などについて理解できるようになる。 [思判表]・古語および漢語と、現代語の言葉とのつながりについて理解できるようになる。
		6	徒然草「今日はそのことをなさんと思へど」	○	○														[知技]・随想の鑑賞方法を習得し、歴史的・文化的背景などを理解できるようになる。 [思判表]・作者のものの見方、感じ方、考え方を読み取ることができるようになる。 [主]・筆者の心情を読み取り、現代にも通じる価値観について理解を深めようとしている。
		7	漢詩「竹里館」他	○	○														
二年(思考力養成期)	一学期	9 10	伊勢物語「月やあらぬ」 文章「桃花源記」	○	○														[知技]・古語や漢語、古典文法や句法を踏まえて的確な口語訳ができるようにする。 [思判表]・筆者のものの見方、考え方を的確に理解する。
		11	枕草子「すさまじきもの」 史記「鴻門の会」	○	○														[知技]・語句や文法、句法を活用し、的確な現代語訳ができるようにする。 [思判表]・登場人物の行動や心理、状況を的確に把握し、読解を深める。
		12	源氏物語「桐壺の更衣」	○	○														
二年(応用力養成期)	三学期	1	源氏物語「玉の男皇子」	○	○	○													[知技]・古典の世界に親しみ、作品や文章の歴史的、文化的背景などを理解できるようになる。 [思判表]・作者のものの見方、感じ方、考え方を読み取ることができるようになる。
		2	思想「論語」「孟子」「老子」 「荘子」「韓非子」	○	○	○													[知技]・古代中国の歴史や時代背景を理解しながら、諸子百家の思想について理解する。 [思判表]・それぞれの思想における人間観や社会観を比較しながら的確に読み取る。 [主]・自らの人間観・世界観を深める。
		3	更級日記「門出」	○	○														

	評価の観点内容	評価方法
知識・技能	生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようになったか。	・知識や技能の習得を問う小テスト ・定期考査や課題実力考査
思考・判断・表現	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができたか。	・ワークシート ・話し合い活動や発表 ・定期考査や課題実力考査
主体的に学習に取り組む態度	言葉がもつ価値への認識を深め、読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養えたか。	・ノートの記事状況 ・課題の取組状況と提出状況 ・授業、話し合い活動、発表での態度

使用教科書	大修館書店『文学国語』	副教材等	浜島書店『パスワード級別漢字』, 国語辞典
学習の到達目標	国語の知識や技能を身に付け、我が国の言語文化に対する理解を深め、論理的思考力や共感力・想像力を伸ばし、伝え合う力を高め、自分の思いや考え、言葉がもつ価値への認識を深め、読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。		

学期	月	単元名	基礎力			思考力					実践力					活動内容・評価規準	
			挨拶・礼儀 (基礎人間力)	思考・実践の材料や根拠となる学力 (知識)	コミュニケーション能力	情報収集力	想像力・未来を予測する力	課題を発見する力	(客観的に物事を見つめる力 メタ認知)	論理的思考力	情報分析力 (批判的 思考力)	創造する力	情報発信力	課題を解決する力	計画を切り拓く キャリア設計		主体的な行動力
二年(基礎力養成期)	4	「飛ぶことを知っている魂」	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	[知技]・文学作品を読むために必要な語彙を身に付け、表現のおもしろさを理解できるようになる。 [思判表]・表現を味わいながら筆者のメッセージを読み取ることができるようになる。
	6	「山月記」	○	○			○	○	○	○		○		○			[知技]・古代中国の歴史や漢語の知識などを踏まえつつ、現代の小説として読解できるようにする。 [思判表]・登場人物の行動や心理を読み取り、自分自身の問題として考察を深める。
	7	詩「竹」「君の呼びかけに」	○	○			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	[知技]・韻文の読解・鑑賞の仕方を習得する。 [思判表]・表現の面白さを味わいながら、言葉が生み出すイメージや世界の豊かさを感じ取る。
二年(思考力養成期)	9	「山椒魚」	○	○			○	○	○	○		○		○			[知技]・文学作品にある寓意に留意し、自分自身に引き寄せながら読解する。 [思判表]・筆者のメッセージを理解し、自分に引き寄せて考え、人生観を深める。
	11	「鹿を追いかけて」	○	○			○	○	○	○		○		○			[知技]・心理を象徴する情景描写に学び、表現を工夫した記述法を習得する。 [思判表]・効果的な表現について、本文を踏まえながら、自他の文章を評価し、鑑賞することができるようにする。
	12	「こころ」	○	○			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	[知技] 文豪夏目漱石とその作品、近代日本の時代背景などを的確に把握する。 [思判表] 登場人物の行動や心理を的確に読み取り、人生についての考えを深める。
二年(応用力養成期)	1	「こころ」	○	○	○		○	○	○	○		○		○			[知技] 文豪夏目漱石とその作品、近代日本の時代背景などを的確に把握する。 [思判表] 登場人物の行動や心理を的確に読み取り、人生についての考えを深める。
	2	「美神」	○	○	○		○	○	○	○		○		○			[知技]・文学作品にある寓意に留意し、自分自身に引き寄せながら読解する。 [思判表]・筆者のメッセージを理解し、自分に引き寄せて考え、人生観を深める。
	3	「月の誤訳」	○	○			○	○	○	○		○		○			[知技]・随想というジャンルについて適切な読解が出来るようにする。 [思判表]・翻訳の難しさや面白さに触れ、言語や文化の差異についての考察を深める。

	評価の観点内容	評価方法
知識・技能	生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようになったか。	・知識や技能の習得を問う小テスト ・定期検査や課題実力考査
思考・判断・表現	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができたか。	・ワークシート ・話し合い活動や発表 ・定期検査や課題実力考査
主体的に学習に取り組む態度	言葉がもつ価値への認識を深め、読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養えたか。	・ノートの記入状況 ・課題の取組状況と提出状況 ・授業、話し合い活動、発表での態度

使用教科書	東京書籍『精選論理国語』	副教材等	浜島書店『パスワード級別漢字』, 国語辞典
学習の到達目標		国語の知識や技能を身に付け、我が国の言語文化に対する理解を深め、論理的思考力や共感性・想像力を伸ばし、伝え合う力を高め、自分の思いや考え、言葉がもつ価値への認識を深め、読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。	

学年	学期	月	単元名	基礎力			思考力					実践力				活動内容・評価規準		
				力挨拶・礼儀(基礎人間)	と思考・実践の材料や根拠となる学力(知識)	コミュニケーション能力	情報収集力	想像力・未来を予測する力	課題を発見する力	客観的に物事を見つめる力(メタ認知)	論理的思考力	情報分析力(批判的思考力)	創造する力	情報発信力	課題を解決する力		設計力	主体的な行動力
三年(実践力養成期)	一学期	4	「混じり合う言葉」 「言語と記号」	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	[知技]・評論を読むために必要な語彙を身に付け、論理の構造について理解できるようになる。 [思判表]・表現の特徴に気をつけながら筆者の主張を読み取ることができるようになる。
		6		「環境問題と孤立した個人」	○	○			○	○	○	○		○		○		[知技]・具体的な事例と筆者の意見の関係に注意して読むことができるようになる。 [思判表]・作者のものの見方、感じ方、考え方を読み取り、言語と自我の構造について考えを深める。
		7		「読み書きする身体」	○	○			○	○	○	○	○		○		○	
三年(実践力養成期)	二学期	9	「原始社会像の真実」 「抗争する人間」	○	○			○	○	○	○		○		○		[知技]・提示された問いに注意して読む。挙げられた事例と筆者の分析の関係に注意する。 [思判表]・筆者の主張を理解し、自分に引き寄せて考える。人間関係のあり方について考えを深める。	
		11		大学入試対策演習		○			○	○	○	○		○		○		[知技]・[思判表]演習問題や過去問を解いて解答力を付ける。 [主]・多様な入試問題に対して、よく研究し、策を練るなど学ぶ意欲を向上させている
		12		大学入試対策演習		○			○	○	○	○		○		○		[知技]・[思判表]演習問題や過去問を解いて解答力を付ける。 [主]・多様な入試問題に対して、よく研究し、策を練るなど学ぶ意欲を向上させている
三年(実践力養成期)	三学期	1	大学入試対策演習		○			○	○	○	○		○		○		[知技]・[思判表]演習問題や過去問を解いて解答力を付ける。 [主]・多様な入試問題に対して、よく研究し、策を練るなど学ぶ意欲を向上させている	
		2																
		3																

	評価の観点内容	評価方法
知識・技能	生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようになったか。	・知識や技能の習得を問う小テスト ・定期考査や課題実力考査
思考・判断・表現	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができたか。	・ワークシート ・話し合い活動や発表 ・定期考査や課題実力考査
主体的に学習に取り組む態度	言葉がもつ価値への認識を深め、読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養えたか。	・ノートの記入状況 ・課題の取組状況と提出状況 ・授業、話し合い活動、発表での態度

使用教科書	東京書籍『精選論理国語』	副教材等	浜島書店『パスワード級別漢字』, 国語辞典
学習の到達目標		国語の知識や技能を身に付け、我が国の言語文化に対する理解を深め、論理的思考力や共感性・想像力を伸ばし、伝え合う力を高め、自分の思いや考え、言葉がもつ価値への認識を深め、読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。	

学期	月	単元名	基礎力			思考力					実践力				活動内容・評価規準		
			力挨拶・礼儀(基礎人間)	と思考・実践の学力(知識)	コミュニケーション能力	情報収集力	想像力・未来を予測する力	課題を発見する力	客観的に物事を見つめる力(メタ認知)	論理的思考力	情報分析力(批判的思考)	創造する力	情報発信力	課題を解決する力		設計力	主体的な行動力
三年(実践力養成期)	4	「混じり合う言葉」 「言語と記号」	○	○	○	○	○	○	○								[知技]・評論を読むために必要な語彙を身に付け、論理的構造について理解できるようになる。 [思判表]・表現の特徴に気をつけながら筆者の主張を読み取ることができるようになる。
	6	「環境問題と孤立した個人」	○	○			○	○	○				○				[知技]・具体的な事例と筆者の意見の関係に注意して読むことができるようになる。 [思判表]・作者のものの見方、感じ方、考え方を読み取り、言語と自我の構造について考えを深める。
	7	「読み書きする身体」	○	○			○	○	○	○	○		○				[知技]・本文中の二つの課題点を追体験しながら読めるようにする。 [思判表]・筆者の主張を的確に読み取り、科学的視点の持ち方とその意義を理解する。
三年(実践力養成期)	9	「原始社会像の真実」 「抗争する人間」	○	○			○	○	○	○			○				[知技]・提示された問いに注意して読む。挙げられた事例と筆者の分析の関係に注意する。 [思判表]・筆者の主張を理解し、自分に引き寄せて考える。人間関係のあり方について考えを深める。
	11	大学入試対策演習		○	○	○	○	○	○	○			○				[知技]・[思判表]演習問題や過去問を解いて解答力を付ける。 [主]・多様な入試問題に対して、よく研究し、策を練るなど学ぶ意欲を向上させている
	12	大学入試対策演習		○	○	○	○	○	○	○			○				[知技]・[思判表]演習問題や過去問を解いて解答力を付ける。 [主]・多様な入試問題に対して、よく研究し、策を練るなど学ぶ意欲を向上させている
三年(実践力養成期)	1	大学入試対策演習		○	○	○	○	○	○	○			○				[知技]・[思判表]演習問題や過去問を解いて解答力を付ける。 [主]・多様な入試問題に対して、よく研究し、策を練るなど学ぶ意欲を向上させている
	2																
	3																

	評価の観点内容	評価方法
知識・技能	生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようになったか。	・知識や技能の習得を問う小テスト ・定期考査や課題実力考査
思考・判断・表現	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができたか。	・ワークシート ・話し合い活動や発表 ・定期考査や課題実力考査
主体的に学習に取り組む態度	言葉がもつ価値への認識を深め、読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養えたか。	・ノートの記入状況 ・課題の取組状況と提出状況 ・授業、話し合い活動、発表での態度

使用教科書	大修館書店『文学国語』	副教材等	浜島書店『パスワード級別漢字』, 国語辞典
学習の到達目標		国語の知識や技能を身に付け、我が国の言語文化に対する理解を深め、論理的思考力や共感力・想像力を伸ばし、伝え合う力を高め、自分の思いや考え、言葉がもつ価値への認識を深め、読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。	

学期	月	単元名	基礎力				思考力						実践力				活動内容・評価規準	
			力挨拶・礼儀(基礎人間)	と思考・実践の学力(知識)	コミュニケーション能力	情報収集力	力想像力・未来を予測する	課題を発見する力	力客観的に物事を見つめる(メタ認知)	論理的思考力	情報分析力(批判的思考力)	創造する力	情報発信力	課題を解決する力	設計力	主体的な行動力		協働力(チームワーク)
三年(実践力養成期)	4	「桜の中で、時が重なり合う」	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	[知技]・文章を読むために必要な語彙を幅広く身に付ける。 [思判表]・表現を味わいながら筆者のメッセージを読み取ることができるようになる。
	5	「鍋セット」(角田光代)「桔梗くんへ」(川上未映子)	○	○														[知技]・文体の特徴とその効果について理解を深める。 [思判表]・作品をとおして、日常的なできごとや体験の意味を振り返る。
	7		「紅い蘭」(安部公房)「掟の門」(フランツ・カフカ)	○	○													
三年(実践力養成期)	9	「檸檬」(梶井基次郎)「待つ」(太宰治)	○	○														[知技]・作品の背景となる時代状況への理解を深める。 [思判表]・筆者のメッセージを理解し、自分に引き寄せて考え、人生観を深める。
	10																	
	11	大学入試対策演習		○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	[知技]・[思判表]演習問題や過去問を解いて解答力を付ける。 [主]・多様な入試問題に対して、よく研究し、策を練るなど学ぶ意欲を向上させている
三年(実践力養成期)	12	大学入試対策演習		○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	[知技]・[思判表]演習問題や過去問を解いて解答力を付ける。 [主]・多様な入試問題に対して、よく研究し、策を練るなど学ぶ意欲を向上させている
	1	大学入試対策演習		○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	[知技]・[思判表]演習問題や過去問を解いて解答力を付ける。 [主]・多様な入試問題に対して、よく研究し、策を練るなど学ぶ意欲を向上させている
	2																	
	3																	

	評価の観点内容	評価方法
知識・技能	生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようになったか。	・知識や技能の習得を問う小テスト ・定期調査や課題実力考査
思考・判断・表現	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができたか。	・ワークシート ・話し合い活動や発表 ・定期調査や課題実力考査
主体的に学習に取り組む態度	言葉がもつ価値への認識を深め、読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養えたか。	・ノートの記入状況 ・課題の取組状況と提出状況 ・授業、話し合い活動、発表での態度

使用教科書	大修館書店『精選古典探究』	副教材等	「新明説総合古典文法」・「新明説漢文」・「古語辞典」・「漢和辞典」
学習の到達目標		国語の知識や技能を身に付け、我が国の言語文化に対する理解を深め、論理的思考力や共感力・想像力を伸ばし、伝え合う力を高め、自分の思いや考え、言葉がもつ価値への認識を深め、読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。	

学期	月	単元名	基礎力			思考力					実践力					活動内容・評価規準	
			力 挨拶・礼儀(基礎人間)	と 思考・実践の材料や根拠 となる学力への知識)	コ ミュニケーション能力	情 報収集力	力 想像力・未来を予測する	課 題を発見する力	力 客観的に物事を見つめる (メタ認知)	論 理的思考力	情 報分析力(批判的 思考)	情 報発信力	創 造する力	情 報発信力	課 題を解決する力		設 計力を切り拓く キャリア
三年(実践力養成期)	4 5	今昔物語集「馬盗人」 故事・逸話「水魚の交はり」 他	○	○													[知技]・古典を読むために必要なきまりや古典特有の表現などについて理解できるようになる。 [思判表]・古語・漢語と現代語の言葉とのつながりについて理解できるようになる。
	6	枕草子「二月つごもりごろに」他 史伝「史記」	○	○													[知技]・古典の世界に親しみ、作品や文章の歴史的・文化的背景などを理解できるようになる。 [思判表]・作者のものごとの見方、感じ方、考え方を読み取ることができるようになる。
	7	大鏡「肝だめし」他 文章「師説」他	○	○													
三年(実践力養成期)	9 10	源氏物語「須磨の秋」他 思想「暴虎馮河」「夢為胡蝶」他	○	○													[知技]・まとまった内容の文章に慣れ、語彙・文法・句法などを確認する。 [思判表]・登場人物の関係や行動・心理を的確に理解し、深く読み味わうことができるようになる。
	11	大学入試対策演習		○													[知技]・[思判表]演習問題や過去問を解いて解答力を付ける。 [主]・多様な入試問題に対して、よく研究し、策を練るなど学ぶ意欲を向上させている
	12	大学入試対策演習		○													[知技]・[思判表]演習問題や過去問を解いて解答力を付ける。 [主]・多様な入試問題に対して、よく研究し、策を練るなど学ぶ意欲を向上させている
三年(実践力養成期)	1	大学入試対策演習		○													[知技]・[思判表]演習問題や過去問を解いて解答力を付ける。 [主]・多様な入試問題に対して、よく研究し、策を練るなど学ぶ意欲を向上させている
	2																
	3																

	評価の観点内容	評価方法
知識・技能	生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようになったか。	・知識や技能の習得を問う小テスト ・定期査や課題実力査
思考・判断・表現	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができたか。	・ワークシート ・話し合い活動や発表 ・定期査や課題実力査
主体的に学習に取り組む態度	言葉がもつ価値への認識を深め、読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養えたか。	・ノートの記入状況 ・課題の取組状況と提出状況 ・授業、話し合い活動、発表での態度

使用教科書	大修館書店『精選古典探究』	副教材等	「新明説総合古典文法」・「新明説漢文」・「古語辞典」・「漢和辞典」
学習の到達目標		国語の知識や技能を身に付け、我が国の言語文化に対する理解を深め、論理的思考力や共感性・想像力を伸ばし、伝え合う力を高め、自分の思いや考え、言葉がもつ価値への認識を深め、読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。	

学年	学期	月	単元名	基礎力				思考力					実践力				活動内容・評価規準		
				力挨拶・礼儀(基礎人間)	と思考・実践(知識)の材料や根拠	コミュニケーション能力	情報収集力	想像力・未来を予測する力	課題を発見する力	客観的に物事を見つめる力(メタ認知)	論理的思考力	情報分析力(批判的シンキング)	創造する力	情報発信力	課題を解決する力	設計力を切り拓くキャリア		主体的な行動力	協働力(チームワーク)
三年(実践力養成期)	一学期	4	今昔物語集「馬盗人」他 故事・逸話「水魚の交はり」他 枕草子「二月つごもりごろに」他 史伝「史記」 大鏡「肝だめし」他 文章「師説」他	○	○														[知技]・古典を読むために必要なまりや古典特有の表現などについて理解できるようになる。 [思判表]・古語・漢語と現代語の言葉とのつながりについて理解できるようになる。 [知技]・古典の世界に親しみ、作品や文章の歴史的、文化的背景などを理解できるようになる。 [思判表]・作者のものの見方、感じ方、考え方を読み取ることができるようになる。 [知技]・随想・漢詩の鑑賞方法を習得する。 [思判表]・表現を味わい、作者の心理を的確に読み取ることができるようになる。
		5		○	○														
		6		○	○														
三年(実践力養成期)	二学期	9	源氏物語「須磨の秋」他 思想「暴虎馮河」「夢為胡蝶」他 大学入試対策演習 大学入試対策演習	○	○														[知技]・まとまった内容の文章に慣れ、語彙・文法・句法などを確認する。 [思判表]・登場人物の関係や行動・心理を的確に理解し、深く読み味わうことができるようになる。 [知技]・[思判表]演習問題や過去問を解いて解答力を付ける。 [主]・多様な入試問題に対して、よく研究し、策を練るなど学ぶ意欲を向上させている [知技]・[思判表]演習問題や過去問を解いて解答力を付ける。 [主]・多様な入試問題に対して、よく研究し、策を練るなど学ぶ意欲を向上させている
		10		○	○														
		11		○	○														
三年(実践力養成期)	三学期	1	大学入試対策演習	○	○														[知技]・[思判表]演習問題や過去問を解いて解答力を付ける。 [主]・多様な入試問題に対して、よく研究し、策を練るなど学ぶ意欲を向上させている
		2		○	○														
		3		○	○														

	評価の観点内容	評価方法
知識・技能	生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようになったか。	・知識や技能の習得を問う小テスト ・定期査や課題実力査
思考・判断・表現	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができたか。	・ワークシート ・話し合い活動や発表 ・定期査や課題実力査
主体的に学習に取り組む態度	言葉がもつ価値への認識を深め、読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養えたか。	・ノートの記入状況 ・課題の取組状況と提出状況 ・授業、話し合い活動、発表での態度

使用教科書	「地理総合 世界に学び地域へつなぐ」 「新詳 高等地図」	副教材等	「地理総合ワークブック」
学習の到達目標		社会的事象の地理的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を育成する。	

学期	月	単元名	基礎力			思考力					実践力				活動内容等			
			力挨拶・礼儀(基礎人間)	風と考・実践となる学力(知識)	カコミュニケーション能	情報収集力	想像力・未来を予測する力	課題を発見する力	客観的に物事を見つめる力(メタ認知)	論理的思考力	情報分析力(批判的シンキング)	創造する力	情報発信力	課題を解決する力		ア未来を切り拓くキャリア	主体的な行動力	協働力(ムワーク)
一年(基礎力養成期)	4	地図とGISの活用 1 球面状の世界 2 日本の位置と領域 3 国内や国家間の結びつき 4 暮らしの中の地図とGIS															[知技] 地球上での位置の示し方を理解し、日常生活における時差計算の技能を身に付ける。 [知技] 世界地図の様々な図法の特徴を捉え、グローバルな立場から日本の領域を理解する。 [思判表] 統計地図やグラフを読み取る技能を身に付け、資料を根拠に課題解決の方策を考える。 [知技] 地図やGISを活用する技能を身に付ける。	
	5																	
	6																	
7																		
9	世界各地の生活文化 1 東アジア 2 ASEAN諸国 3 南アジア																[知技] 社会経済システムの変化に焦点を当て、中国や韓国を例にその特徴を捉える。 [知技] 多民族社会と地域統合に焦点を当て、多様な文化をもつ東南アジアについて理解する。 [思判表] 南アジアの水資源に焦点を当て、水資源と宗教、農業、文化や産業の関わりを各種資料をもとに考察する。	
10																		
二学期	4	イスラーム圏 アフリカ EUと周辺諸国 ロシア															[知技] イスラームに焦点を当て、気候条件や宗派、資源などの視点から考察を深める。 [知技] 自然環境や生活文化の多様性に焦点を当て、アフリカの課題について考える。 [思判表] 産業の発達と地域統合に焦点を当て、ヨーロッパを例に多様性と一体化をもつ産業の特徴や背景を主題図やグラフをもとに捉える。	
	6																	
	7																	
8																		
9	アメリカ・カナダ ラテンアメリカ オセアニア																[知技] 社会経済システムのグローバル化に焦点を当て、アメリカやカナダを例に多民族社会とその歴史的背景について理解する。 [知技] 開発に焦点を当て、ラテンアメリカの農業や鉱業などの産業の多様性の背景を考える。 [思判表] 開発に焦点を当て、植民の歴史とそこに展開する産業を主題図や各種資料から捉える。	
10																		
一年(思考力養成期)	1	地球的課題と国際協力 1 地球環境問題 2 資源・エネルギー問題															[知技] 地球環境問題がグローバルな問題であると同時に、自らの問題でもあることをSDGsを踏まえて認識する。 [主] 各種資源について、分布の偏在やそれにもともなう格差、資源の枯渇などの問題とその解決に向けた取り組みをSDGsに関連づけて捉える。	
	3																	[思判表] 人口が急増する世界の現状を捉え、人口ピラミッドや相関図などの資料から人口問題の構造と地域差を捉え、その背景や問題点を整理する。 [主] 都市に人口が集中する現状とそれにもともなう問題を捉え、都市計画とSDGsと関連づけながら解決策を考える。
	4																	
3	生活圏の諸課題 1 日本の自然災害と防災 2 生活圏の諸課題と地域調査																[知技] 日本列島の自然環境の特徴を理解し、自然災害の事例についてハザードマップや気象情報などを活用する技能とともに捉える。 [主] 日本が抱える地域的な課題について、身近な事例を取り上げ、少子高齢化や過疎化について調査の技能を身に付ける。	
2																		

	評価の観点内容	評価方法
知識・技能	現代世界の地理的事象についての基本的知識を身に付け、相互の関連について理解し、地図の独図や資料の読み取りなどの地理的技能を身に付けたか。	・定期考査、課題実力考査 ・授業態度(ノート、提出物の状況、授業中の発問に対する応答、机間巡視など) ・作業学習への取り組みと成果
思考・判断・表現	現代世界の地理的事象について、地域性や歴史的背景を踏まえ、地理の見方・考え方から考察し、地理情報を活用して表現できるか。	
主体的に学習に取り組む態度	周囲と協働して積極的に地理的問題について考察を深め、地理を学ぶことを自己の成長につなげることができたか。	

使用教科書	歴史総合 近代から現代へ (山川出版社)	副教材等	
学習の到達目標		社会的事象の歴史的新見方・考え方を働かせ、課題の追究・解決の活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を育成する。	

学期	月	単元名	基礎力			思考力					実践力					活動内容・評価規準		
			力挨拶・礼儀(基礎人間)	と思考・実践の学力(知識)	コミュニケーション能力	情報収集力	想像力・未来を予測する力	課題を発見する力	客観的に物事を見つめる力(メタ認知)	論理的思考力	情報分析力(批判的シンキング)	創造する力	情報発信力	課題を解決する力	設計力を切り拓くキャリア		主体的な行動力	協働力(チームワーク)
一学期	4	歴史の扉 ① 歴史と私たち ② 歴史の特質と資料 第1部 近代化と私たち 近代化への問い 第1章 結びつく世界	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	〔知技〕身の回りの事象と世界の歴史がつながっていることを理解する。 〔知技〕近代化に関する複数の資料を分析し、そこから抜き出した情報を適切に取り扱う技能を身に付ける。 〔知技〕15～18世紀のアジア各地域間や欧米諸国との貿易と、日本への影響について理解する。 〔思判表〕「大航海時代」から「世界の一体化」へ至る交易の意義と地域の変容について考察し、自分の言葉で表現する。 〔主〕諸資料から近代化について理解し、見直しをもって学習に取り組む。
	5	第2章 近代ヨーロッパ・アメリカ世界の成立	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	〔知技〕市民社会と国民国家の形成、資本主義社会と国際分業体制確立の経緯を理解する。 〔思判表〕市民革命および産業革命の経緯などから、諸改革の意義と現在社会との関わりを考察し、自分の言葉で表現する。 〔主〕市民革命や産業革命がもたらした課題について、解決策を追究しようとする。	
	6	第3章 明治維新と日本の立憲体制	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	〔知技〕明治維新後の日本の変化やアジア諸国の変容について理解する。 〔思判表〕明治維新の歴史的意義や立憲体制の確立について、現代の日本への影響と関連付けて考察し、自分の言葉で表現する。 〔主〕明治維新や日本の立憲体制の確立、アジア諸国の変容が、現代社会にどのような課題を与えたかについて考察し、解決策を追究する。	
	7	第4章 帝国主義の展開とアジア近代化と現代的な諸課題	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	〔知技〕日清・日露戦争が国内や周辺地域に与えた影響や帝国主義による世界分断を理解する。 〔思判表〕日清・日露戦争が国内や周辺地域に与えた影響や国民国家の形成・発展による対外戦争、帝国主義が人種に与えた変化について考察し、自分の言葉で表現する。 〔主〕国民国家や帝国主義政策が現代社会に与えた影響について、追究する。 〔主〕近代化について、よりよい社会の実現を視野に現代につながる課題を見出そうとする。	
二学期	9	第II部 国際秩序の変化や大衆化と私たち 国際秩序の変化や大衆化への問い 第5章 第一次世界大戦と大衆社会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	〔主〕諸資料から大衆化について理解し、見直しをもって学習に取り組む。 〔知技〕国際関係の視点を中心に、第一次世界大戦の経緯と、その後の影響や社会の変化について理解する。 〔思判表〕第一次世界大戦の勢力戦体制が社会に与えた影響、その後の新しい国際秩序と大衆社会の特徴について考察し、自分の言葉で表現する。 〔主〕勢力均衡に基づく国際秩序と大衆の戦争参加、ヴェルサイユ体制に基づく国際秩序の成立と、20世紀前半における大衆社会の到来が、現在の社会につながるどのような課題を生み出したのかについて考察し、解決策について追究しようとする。	
	10	第6章 経済危機と第二次世界大戦	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	〔知技〕世界恐慌から第二次世界大戦の終戦に至るまでの経緯について、大衆とメディアの関わりに着目しながら理解する。 〔思判表〕ファシズム体制の形成から終戦に至るまで、ドイツや日本で大衆がなぜ戦争に協力していったのかを考察し、自分の言葉で表現する。 〔主〕大衆の戦争への加担という問題を現代社会における課題としてとらえ、その解決策を追究しようとする。	
	11	第7章 戦後の国際秩序と日本の改革 国際秩序の変化や大衆化と現代的な諸課題	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	〔知技〕冷戦および冷戦構造の形成と、国連を中心とする平和に向けた新たな国際秩序について、日本と関連付けて理解する。 〔思判表〕第二次世界大戦以前と以後の国際関係を比較することで、戦争の経験が人々に何をもたらしたのかを考察し、自分の言葉で表現する。 〔主〕大戦後に形成された平和維持体制における課題が、現代社会にどのような影響を及ぼしているかについて考察し、解決策を追究しようとする。 〔主〕現代的な諸課題に関わる国際秩序の変化や大衆化の歴史を理解し、よりよい社会の実現を視野に現代につながる課題を見出そうとする。	
	12	第III部 グローバル化と私たち グローバル化への問い 第8章 冷戦と世界経済	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	〔知技〕諸資料からグローバル化について理解し、多様な人々が共存する社会の発展について、見直しをもって学習に取り組む。 〔知技〕冷戦下の緊張と緩和の経緯と、そのなかでの「第三世界」の形成や日本の高度経済成長など冷戦下における各国の動向について、理解する。 〔思判表〕冷戦下の世界と日本の動向について、政治・経済の関連や諸地域間の比較を通して多面的に考察し、みずからの言葉で表現する。 〔主〕冷戦下における各国の政治的・経済的選択が、現代社会にどのような課題を生み出したのかを考察し、解決策について追究しようとする。	
三学期	1		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	〔知技〕冷戦終結の過程とグローバル化の特質について理解する。 〔思判表〕グローバル化の進展や地域統合、ナショナリズムの強化について各地域を比較して考察し、その特質や問題点を自分の言葉で表現する。 〔主〕冷戦の終結とグローバル化の進展がどのような課題を生み出したのかについて考察し、解決策について追究しようとする。		
	2	第9章 グローバル化する世界	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	〔知技〕グローバル化に伴う多極化や反グローバル化運動への対応、多極性の容認などをみずからの問題として理解する。 〔思判表〕グローバル化が進むなかでの日本の役割について、求められるものと課題を考察し、表現する。 〔知技〕身近な課題を考察するうえで歴史的な見方や考え方を活用することや、現在の課題解決や私たちの将来を構想するうえで大切であることを理解する。 〔主〕みずから問いを立て、分析の方法や視点を設定し、その答えを追究しようとする。 〔主〕分析や考察の結果を他者と共有したり、比較したりして、自分の考えをより良いものに改善しようとする。		
	3	第10章 現代の課題 現代的な諸課題の形成と展望	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			

	評価の観点内容	評価方法
知識・技能	近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、世界とその中の日本を広く相互的な視野から捉え、現代的な諸課題の形成に関わる近現代の歴史を理解する。諸資料から情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。	・授業への取り組み ・提出課題、レポート ・定期考査、小テスト ・ディスカッション ・グループワーク
思考・判断・表現	近現代の歴史の変化に関わる事象の意味や意義、特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、多面的・多角的に考察したり、発表したりする力を養う。	ほか
主体的に学習に取り組む態度	近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を協働して主体的に追究、解決しようとする態度を養う。	

使用教科書	新詳地理探究, 新詳高等地図	副教材等	世界の諸地域NOW2024
学習の到達目標		社会的事象の地理的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を次のとおり育成することを目指す。	

学期	月	単元名	基礎力			思考力					実践力					活動内容・評価規準		
			力振・挨拶・礼儀(基礎人間)	と思考・実践となる学力(知識・技能)	コミュニケーション能力	情報収集力	力想像力・未来を予測する	課題を見出す力	力客観的に物事を見つめる(メタ認知)	論理的思考力	情報分析力(批判的思考力)	創造する力	情報発信力	課題を解決する力	設未計を切り拓くキャリア		主体的な行動力	協働力(チームワーク)
二年(思考力養成期)	4	・地球システムのなかで生きる私たち ・地形の成因と大地形と小地形	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	<p>(知識・技能) 地形、気候、生態系などに関わる諸事象をもとに、それらの事象の空間的な規則性や傾向性、地球環境問題の現状や要因、解決に向けた取り組みについて理解している。</p> <p>(思考・判断・表現) 地形、気候、生態系などに関わる諸事象について、場所の特徴や自然及び社会的条件との関わりなどに着目して、主題を設定し、それらの事象の空間的な規則性、傾向性や、関連する地球的課題の要因や動向などを多面的・多角的に考察し、表現している。</p> <p>(主体的に学習に取り組む態度) 自然環境について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。</p>
	5	・河川流域と海岸に見られる地形 ・気候の成り立ち ・気候と生態系、気候区分	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
	6	・さまざまな気候帯 ・気候変動と異常気象 ・日本の地形	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
	7	・日本の気候 ・地球環境問題 ・農業の発達と分布	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
二年(思考力養成期)	9	・農業の地域区分 ・現代世界の農業の現状と課題	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	<p>(知識・技能) 資源・エネルギーや農業に関わる諸事象を基に、それらの事象の空間的な規則性、傾向性や、資源・エネルギー、食料問題の解決に向けた取組などについて理解している。</p> <p>(思考・判断・表現) 資源・エネルギーや農業に関わる諸事象について、場所の特徴や場所の結びつきに着目して、主題を設定し、それらの事象の空間的な規則性、傾向性や、関連する地球的課題の要因や動向などを多面的・多角的に考察し、表現している。</p> <p>(主体的に学習に取り組む態度) 資源、産業について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。</p>	
	10	・世界と日本の林業 ・世界と日本の水産業	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			
	11	・世界と日本の食料問題 ・エネルギー資源の種類と利用	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			
	12	・化石燃料の分布と利用 ・電力の利用 ・鉱山資源の種類と利用	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			
二年(思考力養成期)	1	・工業の発達の種類 ・工業の立地 ・世界の工業地域 ・現代世界の工業の課題	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	<p>(知識・技能) 交通・通信網と物流や人の移動に関する運輸、観光などに関わる諸事象を基に、それらの事象の空間的な規則性、傾向性や、交通・通信、観光に関する問題の現状や要因、解決に向けた取組などについて理解している。</p> <p>(思考・判断・表現) 交通・通信網と物流や人の移動に関する運輸、観光などに関わる諸事象について、場所の特徴や場所の結びつきに着目して、主題を設定し、地球的課題の要因や動向を多面的・多角的に考察し、表現している。</p> <p>(主体的に学習に取り組む態度) 交通・通信、観光について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。</p>	
	2	・第三次産業 ・交通と通信	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			
	3	・観光 ・貿易と経済圏	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			

	評価の観点内容	評価方法
知識・技能	各まとまり、単元で学習する内容の規則性や傾向性、問題の現状や解決に向けた取り組みについて理解している。	ペーパーテスト、口頭試問
思考・判断・表現	各まとまり、単元で学習する内容の規則性や傾向性、問題の現状や解決に向けた取り組みについて多面的・多角的に考察し、表現している。	ペーパーテスト
主体的に学習に取り組む態度	各まとまり、単元で学習する内容について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。	レポート、マインドマップ等

使用教科書	新詳地理探究, 新詳高等地図	副教材等	世界の諸地域NOW2024
学習の到達目標		社会的事象の地理的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を次のとおり育成することを目指す。	

学期	月	単元名	基礎力			思考力					実践力				活動内容・評価規準		
			力挨拶・礼儀(基礎人間)	と思考・実践の材料や根拠となる学力践(知識)	コミュニケーション能力	情報収集力	想像力・未来を予測する力	課題を発見する力	力客観的に物事を見つめる(メタ認知)	論理的思考力	情報分析力(批判的思考)	創造する力	情報発信力	課題を解決する力		設計力を切り拓くキャリア	主体的な行動力
二年(思考力養成期)	4	・地球システムのなかで生きる私たち ・地形の成因と大地形と小地形	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	<ul style="list-style-type: none"> ・地形, 気候, 生態系などに関わる諸事象をもとに, それらの事象の空間的な規則性や傾向性, 地球環境問題の現状や要因, 解決に向けた取り組みについて理解している。(知識・技能) ・地形, 気候, 生態系などに関わる諸事象について, 場所の特徴や自然及び社会的条件との関わりなどに着目して, 主題を設定し, それらの事象の空間的な規則性, 傾向性や, 関連する地球的課題の要因や動向などを多面的・多角的に考察し, 表現している。(思考・判断・表現) ・自然環境について, よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。(主体的に学習に取り組む態度)
	5	・河川流域と海岸に見られる地形 ・気候の成り立ち ・気候と生態系, 気候区分	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	6	・気候と生態系, 気候区分 ・さまざまな気候帯	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	7	・気候変動と異常気象 ・日本の地形	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
二年(思考力養成期)	9	・日本の気候 ・地球環境問題	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	<ul style="list-style-type: none"> ・資源・エネルギーや農業に関わる諸事象を基に, それらの事象の空間的な規則性, 傾向性や, 資源・エネルギー, 食料問題の解決に向けた取組などについて理解している。(知識・技能) ・資源・エネルギーや農業に関わる諸事象について, 場所の特徴や場所の結びつきに着目して, 主題を設定し, それらの事象の空間的な規則性, 傾向性や, 関連する地球的課題の要因や動向などを多面的・多角的に考察し, 表現している。(思考・判断・表現) ・資源, 産業について, よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。(主体的に学習に取り組む態度)
	10	・農業の発達と分布 ・農業の地域区分 ・現代世界の農業の現状と課題	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	11	・世界と日本の林業 ・世界と日本の水産業	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	12	・世界と日本の食料問題 ・エネルギー資源の種類と利用	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
二年(思考力養成期)	1	・化石燃料の分布と利用 ・電力の利用	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	<ul style="list-style-type: none"> ・資源, 産業について, よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。(主体的に学習に取り組む態度)
	2	・鉱山資源の種類と利用 ・工業の発達と種類	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	3	・工業の立地 ・世界の工業地域 ・現代世界の工業の課題	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	

	評価の観点内容	評価方法
知識・技能	各まとまり, 単元で学習する内容の規則性や傾向性, 問題の現状や解決に向けた取り組みについて理解している。	ペーパーテスト, 口頭試問
思考・判断・表現	各まとまり, 単元で学習する内容の規則性や傾向性, 問題の現状や解決に向けた取り組みについて多面的・多角的に考察し, 表現している。	ペーパーテスト
主体的に学習に取り組む態度	各まとまり, 単元で学習する内容について, よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。	レポート, マインドマップ等

使用教科書	詳説日本史 (山川出版社)	副教材等	最新日本史図表 (第一学習社) 要点整理ゼミナール日本史 (浜島書店)
学習の到達目標	古代からの日本史の学習を通して、社会的事象の歴史的新見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して国際社会に生きる日本人として良識ある歴史認識を身に付ける。		

学年	学期	月	単元名	基礎力			思考力				実践力				活動内容・評価規準	
				力挨拶・礼儀(基礎人間)	力挨拶・礼儀(基礎人間)	情報収集力	課題を見出す力	課題を解決する力	論理的思考力	批判的考察力	創造する力	情報発信力	課題を解決する力	主体的な行動力		主体的な行動力
二年(思考力養成期)	一学期	4	第1章 日本史のあけぼの文化の始まり、農耕社会の成立	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	[知技] 黎明期の日本列島の歴史的環境と文化の形成、原始社会の特色を理解している。 [思判表] 農耕への適応と文化の形成について、多面的・多角的に考察し、表現している。 [主] 黎明期の日本列島の変化に着目して、原始社会の特色について明らかにしようとしている。
		5	第2章 古墳とヤマト政権 古墳文化の展開、飛鳥の朝廷	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	[知技] 国家の形成と古墳文化の成立過程などを基に、古代の政治・社会や文化の特色を理解している。 [思判表] 中国大陸・朝鮮半島との関係やその影響に着目して、古代の国家の形成過程について考察し、表現している。 [主] 中国大陸・朝鮮半島との関係などに着目して、ヤマト政権や推古朝の政治や文化の展開についての課題を主体的に追究しようとしている。
		6 7	第3章 律令国家の形成 律令国家への道、平城京の時代、律令国家の文化、律令国家の変容	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	[知技] 律令体制の成立過程と諸文化の形成などを基に、古代の政治・社会や文化の特色を理解している。 [思判表] 中国大陸・朝鮮半島との関係やその影響に着目して、古代の国家の形成過程について考察し、表現している。 [主] 奈良時代・平安時代初期の政治の動向に着目して、律令体制の展開に関する課題を主体的に追究しようとしている。
二年(思考力養成期)	一学期	9	第4章 貴族政治の展開 摂関政治、国風文化 地方政治の展開と武士	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	[知技] 貴族政治の展開、平安期の文化、地方支配の変化や武士の出現などを基に、律令体制の再編と変容、古代の社会と文化の変容を理解している。 [思判表] 地方の諸勢力の成長と影響、東アジアとの関係の変化、社会の変化と文化との関係などに着目して、古代の国家・社会の変容について考察し、表現している。 [主] 平安時代の国家・社会の変容について、課題を主体的に追究しようとしている。	
		10	第5章 院政と武士の躍進 院政の始まり、院政と平氏政権	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	[知技] 貴族政治の変容と武士の政治進出、土地支配の変容などを基に、古代から中世への時代の転換を理解している。 [思判表] 権力の主体の変化、東アジアとの関わりなどに着目して、古代から中世の国家・社会の変容を多面的・多角的に考察し、表現している。 [主] 時代の転換に着目して、中世の特色について明らかにしようとしている。	
	二学期	11	第6章 武家政権の成立 鎌倉幕府の成立、武士の社会、モンゴル襲来と幕府の衰退、鎌倉文化	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	[知技] 武家政権の成立と展開、産業の発達、宗教や文化の展開などを基に、武家政権の伸張、社会や文化の特色を理解している。 [思判表] 公武関係の変化、宋・元(モンゴル帝国)などユーラシアとの交流と経済や文化への影響などに着目して、中世の国家・社会の展開について考察し、表現している。 [主] 武家政権の成立と展開、鎌倉時代の産業・文化の発展、公武関係の変化、ユーラシアとの交流などについて、課題を主体的に追究しようとしている。	
		12	第7章 武家社会の成長 室町幕府の成立、幕府の衰退と庶民の台頭	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	[知技] 武家政権の変容、日明貿易の展開と琉球王国の成立、村落や都市の自立、多様な文化の形成や融合などを基に、地域権力の成長、社会の変容と文化の特色を理解している。 [思判表] 社会や経済の変化とその影響、東アジアの国際情勢の変化とその影響、地域の多様性、社会の変化と文化との関係などに着目して、中世の国家・社会の変容について考察し、表現している。 [主] 中世の国家や社会の変容に関する諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究しようとしている。	
		1	第7章 武家社会の成長 室町文化、戦国大名の登場	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	[知技] 織豊政権の政治・経済政策、貿易や対外関係などを基に、中世から近世への時代の転換を理解させる。 [思判表] 村落や都市の支配の変化、アジア各地やヨーロッパ諸国との交流の影響などに着目して、中世から近世の国家・社会の変容を考察し、表現している。 [主] 時代の転換に着目して、近世の特色について明らかにしようとしている。	
三学期	2	第8章 近世の幕開け 織豊政権、桃山文化	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	[知技] 法や制度による支配秩序の形成と身分制、貿易の統制と対外関係などを基に、幕藩体制の確立について理解している。 [思判表] 織豊政権との類似と相違、アジアの国際情勢の変化などに着目して、近世の国家・社会の展開について考察し、表現している。 [主] 近世の国家・社会の展開に関する諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究しようとしている。		
	3	第9章 幕藩体制の成立と展開 幕藩体制の成立、幕藩社会の構造	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	[知技] 法や制度による支配秩序の形成と身分制、貿易の統制と対外関係などを基に、幕藩体制の確立について理解している。 [思判表] 織豊政権との類似と相違、アジアの国際情勢の変化などに着目して、近世の国家・社会の展開について考察し、表現している。 [主] 近世の国家・社会の展開に関する諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究しようとしている。		

	評価の観点内容	評価方法
知識・技能	我が国の歴史の展開に関わる諸事象について、地理的条件や世界の歴史と関連づけながら総合的にとらえて理解しているとともに、諸資料から我が国の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身につけるようにする。	・授業への取り組み ・提出課題、レポート ・定期考査、小テスト ・ディスカッション ・グループワーク
思考・判断・表現	我が国の歴史の展開に関わる事象の意味や意義、伝統と文化の特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史にみられる課題を密に解決を視野に入れて構想したり、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらをもとに議論したりする力を養う。	ほか
主体的に学習に取り組む態度	我が国の歴史の展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して誇れる日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。	ほか

使用教科書	詳説日本史 (山川出版社)	副教材等	最新日本史図表 (第一学習社) 要点整理ゼミナール日本史 (浜島書店)
学習の到達目標	古代からの日本史の学習を通して、社会的事象の歴史のな見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して国際社会に生きる日本人として良識ある歴史認識を身に付ける。		

学期	月	単元名	基礎力			思考力					実践力				活動内容・評価規準			
			力採抄・礼儀(基礎人間)	力風思と考なる基学力(知識理解)	力コモニケーション能	情報収集力	想像力・未来を予測する力	課題を発見する力	客観的に物事を見つめる力	論理的思考力	情報分析力(シグナラティフイ批判的シ)	創造する力	情報発信力	課題を解決する力		ア未設計力切り拓くキヤリ	主体的な行動力	協働力(チームワーク)
一学期	4	第1章 日本史のあけぼの文化の始まり、農耕社会の成立	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	【知技】黎明期の日本列島の歴史的環境と文化の形成、原始社会の特色を理解している。 【思判表】環境への適応と文化の形成について、多面的・多角的に考察し、表現している。 【主】黎明期の日本列島の変化に着目して、原始社会の特色について明らかにしようとしている。
	5	第2章 古墳とヤマト政権 古墳文化の展開、飛鳥の朝廷	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	【知技】国家の形成と古墳文化の成立過程などを基に、古代の政治・社会や文化の特色を理解している。 【思判表】中国大陸・朝鮮半島との関係やその影響に着目して、古代の国家の形成過程について考察し、表現している。 【主】中国大陸・朝鮮半島との関係などに着目して、ヤマト政権に権古朝の政治や文化の展開についての課題を主体的に追究しようとしている。
	6 7	第3章 律令国家の形成 律令国家への道、平城京の時代、律令国家の文化、律令国家の変容	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	【知技】律令体制の成立過程と諸文化の形成などを基に、古代の政治・社会や文化の特色を理解している。 【思判表】中国大陸・朝鮮半島との関係やその影響に着目して、古代の国家の形成過程について考察し、表現している。 【主】奈良時代・平安時代初期の政治の動向に着目して、律令体制の展開に関する課題を主体的に追究しようとしている。
二学期	9	第4章 貴族政治の展開 摂関政治、国風文化 地方政治の展開と武士	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	【知技】貴族政治の展開、平安期の文化、地方支配の変化や武士の出現などを基に、律令体制の再編と変容、古代の社会と文化の変容を理解している。 【思判表】地方の諸勢力の成長と影響、東アジアとの関係の変化、社会の変化と文化との関係などに着目して、古代の国家・社会の変容について考察し、表現している。 【主】平安時代の国家・社会の変容について、課題を主体的に追究しようとしている。
	10	第5章 院政と武士の躍進 院政の始まり、院政と平氏政権	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	【知技】貴族政治の変容と武士の政治進出、土地支配の変容などを基に、古代から中世への時代の転換を理解している。 【思判表】権力の主体の変化、東アジアとの関わりなどに着目して、古代から中世の国家・社会の変容を多面的・多角的に考察し、表現している。 【主】時代の転換に着目して、中世の特色について明らかにしようとしている。
	11	第6章 武家政権の成立 鎌倉幕府の成立、武士の社会、モンゴル襲来と幕府の衰退、鎌倉文化	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	【知技】武家政権の成立と展開、産業の発達、宗教や文化の展開などを基に、武家政権の伸張、社会や文化の特色を理解している。 【思判表】公武関係の変化、宋・元(モンゴル帝国)などユーラシアとの交流と経済や文化への影響などに着目して、中世の国家・社会の展開について考察し、表現している。 【主】武家政権の成立と展開、鎌倉時代の産業・文化の発展、公武関係の変化、ユーラシアとの交流などについて、課題を主体的に追究しようとしている。
	12	第7章 武家社会の成長 室町幕府の成立、幕府の衰退と庶民の台頭	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	【知技】武家政権の変容、日明貿易の展開と琉球王国の成立、村落や都市の自立、多様な文化の形成や融合などを基に、地域権力の成長、社会の変容と文化の特色を理解している。 【思判表】社会や経済の変化とその影響、東アジアの国際情勢の変化とその影響、地域の多様性、社会の変化と文化との関係などに着目して、中世の国家・社会の変容について考察し、表現している。 【主】中世の国家や社会の変容に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究しようとしている。
三学期	1	第7章 武家社会の成長 室町文化、戦国大名の登場	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	【知技】織豊政権の政治・経済政策、貿易や対外関係などを基に、中世から近世への時代の転換を理解させる。 【思判表】村落や都市の支配の変化、アジア各地やヨーロッパ諸国との交流の影響などに着目して、中世から近世の国家・社会の変容を考察し、表現している。 【主】時代の転換に着目して、近世の特色について明らかにしようとしている。
	2	第8章 近世の幕開け 織豊政権、桃山文化	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	【知技】法や制度による支配秩序の形成と身分制、貿易の統制と対外関係などを基に、幕藩体制の確立について理解している。 【思判表】織豊政権との類似と相違、アジアの国際情勢の変化などに着目して、近世の国家・社会の展開について考察し、表現している。 【主】近世の国家・社会の展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究しようとしている。
	3	第9章 幕藩体制の成立と展開 幕藩体制の成立、幕藩社会の構造	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	【知技】法や制度による支配秩序の形成と身分制、貿易の統制と対外関係などを基に、幕藩体制の確立について理解している。 【思判表】織豊政権との類似と相違、アジアの国際情勢の変化などに着目して、近世の国家・社会の展開について考察し、表現している。 【主】近世の国家・社会の展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究しようとしている。

	評価の観点内容	評価方法
知識・技能	我が国の歴史の展開に関わる諸事象について、地理的条件や世界の歴史と関連づけながら総合的にとらえて理解しているとともに、諸資料から我が国の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身につけるようにする。	・授業への取り組み ・提出課題、レポート ・定期考査、小テスト ・ディスカッション ・グループワーク
思考・判断・表現	我が国の歴史の展開に関わる事象の意味や意義、伝統と文化の特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史にみられる課題を把握し解決を視野に入れて構想したり、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらをもとに議論したりする力を養う。	・授業への取り組み ・提出課題、レポート ・定期考査、小テスト ・ディスカッション ・グループワーク
主体的に学習に取り組む態度	我が国の歴史の展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。	ほか

使用教科書	詳説世界史（山川出版社）	副教材等	アカデミア世界史（浜島書店）
学習の到達目標	文化の多様性と現代世界の特質を広い視野から考察することによって、歴史的思考力を培い、国際社会に主体的に生きる日本人としての自覚と資質を養う。		

学期	月	単元名	基礎力				思考力						実践力				活動内容・評価規準		
			力発揮・礼儀（基礎人間）	熟考・実践力（知識や根拠）	コミュニケーション能力	情報収集力	想像力・未来を予測する力	課題を発見する力	客観的に物事を見つめる力（メタ認知）	論理的思考力	シナジー（批判的・創造的）	情報分析力（批判的・創造的）	創造する力	情報発信力	課題を解決する力	ア未来を切り拓くキャリア		主体的な行動力	協働力（チームワーク）
一学期	4	第1部 諸地域の歴史的特質の形成 第1章 文明の成立と古代文明の特質 ・文明の誕生、オリент世界（メソポタミア、エジプト等）、中国の古代文明	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	【知識・技能】 ・歴史的用語の理解と説明ができる。 ・歴史の流れを説明できる。 【思考・判断・表現】 ・古代文明滅亡の原因を環境問題から考えることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・グループワークや討論において積極的に参加している。
	5		第2章 中央ユーラシアと東アジア世界 ・中央ユーラシア、秦・漢、中国の動乱と変容、東アジア文化圏の形成	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	【知識・技能】 ・歴史的用語の理解と説明ができる。 ・歴史の流れを説明できる。 【思考・判断・表現】 ・古代中国の影響を日本文化の中から考える。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・グループワークや討論において積極的に参加している。
二年（思考力養成期）	9	第3章 南アジア世界と東南アジア世界の展開 ・仏教の成立と南アジアの統一国家、インド古典文化とヒンドゥー教の定着、東南アジア世界の形成と展開		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	【知識・技能】 ・歴史的用語の理解と説明ができる。 ・歴史の流れを説明できる。 【思考・判断・表現】 ・古代インドで生まれた文化の周辺地域や日本への影響を見いだすことができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・グループワークや討論において積極的に参加している。
	10		第4章 西アジアと地中海周辺の国家形成 ・イラン諸国家の興亡とイラン文明、ギリシア人の都市国家、ローマと地中海支配、キリスト教の成立と発展	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	【知識・技能】 ・歴史的用語の理解と説明ができる。 ・歴史の流れを説明できる。 【思考・判断・表現】 ・古代ギリシアの民主政の崩壊から民主政のあり方を考察できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・グループワークや討論において積極的に参加している。
	11	第5章 イスラム教の成立とヨーロッパ世界の形成 ・アラブの大征服とイスラム政権の成立、ヨーロッパ世界の形成 第II部 諸地域の交流・再編 第6章 イスラム教の伝播と西アジアの動向 ・イスラム教の諸地域への伝播、西アジアの動向		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	【知識・技能】 ・歴史的用語の理解と説明ができる。 ・歴史の流れを説明できる。 【思考・判断・表現】 ・ゲルマン人の大移動と移民問題とを比較検討できる。 ・イスラム教の本来の姿を学び、自分の持つイメージとの比較検討ができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・グループワークや討論において積極的に参加している。
12	第7章 ヨーロッパ世界の変容と展開 ・西ヨーロッパの封建社会とその展開、東ヨーロッパ世界の展開、西ヨーロッパ世界の変容、中世文化		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	【知識・技能】 ・歴史的用語の理解と説明ができる。 ・歴史の流れを説明できる。 【思考・判断・表現】 ・十字軍がもたらした影響を文献から読み解くことができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・グループワークや討論において積極的に参加している。	
二年（実践力養成期）		1	第8章 東アジア世界の展開とモンゴル帝国 ・アジア諸地域の自立化と宋、モンゴルの大帝 第9章 大交易・大交流の時代 ・アジア交易世界の興隆、ヨーロッパの海洋進出とアメリカ大陸の変容	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	【知識・技能】 ・歴史的用語の理解と説明ができる。 ・歴史の流れを説明できる。 【思考・判断・表現】 ・モンゴル帝国が与えた世界的影響を考察できる。 ・ヨーロッパによる銀の世界的流通が中国に与えた影響について考察できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・グループワークや討論において積極的に参加している。
	2	第10章 アジアの諸帝国の繁栄 ・オスマン帝国とサファヴィー朝、ムガル帝国、清代の中国と隣接諸地域		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	【知識・技能】 ・歴史的用語の理解と説明ができる。 ・歴史の流れを説明できる。 【思考・判断・表現】 ・「世界の一体化」の中でのアジアの広大な領土をもつ諸帝国について考察できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・グループワークや討論において積極的に参加している。
	3		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	【知識・技能】 ・歴史的用語の理解と説明ができる。 ・歴史の流れを説明できる。 【思考・判断・表現】 ・「世界の一体化」の中でのアジアの広大な領土をもつ諸帝国について考察できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・グループワークや討論において積極的に参加している。	

	評価の観点内容	評価方法
知識・技能	歴史用語とその内容を理解できるか。それらの関連を流れとして論理的に捉えることができるか。歴史資料や統計資料・地図等を活用し、必要な情報を入手できたか。論理的な展開で説明できるか。	・定期考査 ・小テスト
思考・判断・表現	現代や身近な物事と比較しながら世界史を学ぶことの意義と必要性を考えようとしたか。また、歴史上の事象における選択の場面で、どういう選択がどのような結果をもたらすか考えることができたか。工夫して、わかりやすく自分の考え等を説明する力を身に付けることができたか。	・定期考査等での記述式問題 ・授業での発表、発言、疑問点の指摘
主体的に学習に取り組む態度	グループワークや討論等協働的な活動を通して、積極的に学ぼうとする姿勢が見られたか。歴史を学ぶことを、人間としての成長に繋げることができたか。協働して学ぶ姿勢や態度を習得できたか。	・授業ノートや考査の訂正ノート等の成果物 ・授業や考査に関する自己評価シート

使用教科書	詳説世界史（山川出版社）	副教材等	アカデミア世界史（浜島書店）
学習の到達目標	文化の多様性と現代世界の特徴を広い視野から考察することによって、歴史的思考力を培い、国際社会に主体的に生きる日本人としての自覚と資質を養う。		

学期	月	単元名	基礎力				思考力				実践力				活動内容・評価規準	
			人権的・礼儀（基礎）	（知識）と実践の字材料	情報収集力	情報収集力	課題を発見する力	課題を解決する力	論理的思考力	知的思考力（メタ認知）	創造する力	情報発信力	課題を解決する力	主体的な行動力		協働的（グループワーク）
一学期	4 5 6	第1部 諸地域の歴史的特質の形成 第1章 文明の成立と古代文明の特徴 ・文明の誕生、オリエント世界（メソポタミア、エジプト等）、中国の古代文明	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	【知識・技能】 ・歴史的用語の理解と説明ができる。 ・歴史の流れを説明できる。 【思考・判断・表現】 ・古代文明滅亡の原因を環境問題から考えることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・グループワークや討論において積極的に参加している。
	7	第2章 中央ユーラシアと東アジア世界 ・中央ユーラシア、秦・漢、中国の動乱と変容、東アジア文化圏の形成	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	【知識・技能】 ・歴史的用語の理解と説明ができる。 ・歴史の流れを説明できる。 【思考・判断・表現】 ・古代中国の影響を日本文化の中から考える。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・グループワークや討論において積極的に参加している。
二年（思考力養成期）	9 10	第3章 南アジア世界と東南アジア世界の展開 ・仏教の成立と南アジアの統一国家、インド古典文化とヒンドゥー教の定着、東南アジア世界の形成と展開	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	【知識・技能】 ・歴史的用語の理解と説明ができる。 ・歴史の流れを説明できる。 【思考・判断・表現】 ・古代インドで生まれた文化の周辺地域や日本への影響を見いだすことができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・グループワークや討論において積極的に参加している。
	11	第4章 西アジアと地中海周辺の国家形成 ・メソポタミア諸国家の興亡とイラン文明、ギリシア人の都市国家、ローマと地中海支配、キリスト教の成立と発展	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	【知識・技能】 ・歴史的用語の理解と説明ができる。 ・歴史の流れを説明できる。 【思考・判断・表現】 ・古代ギリシアの民主政の崩壊から民主政のあり方等を考察できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・グループワークや討論において積極的に参加している。
	12	第5章 イスラム教の成立とヨーロッパ世界の形成 ・アラブの大征服とイスラム政権の成立、ヨーロッパ世界の形成 第II部 諸地域の交流・再編 第6章 イスラム教の伝播と西アジアの動向 ・イスラム教の諸地域への伝播、西アジアの動向	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	【知識・技能】 ・歴史的用語の理解と説明ができる。 ・歴史の流れを説明できる。 【思考・判断・表現】 ・ゲルマン人の大移動と移民問題を比較検討できる。 ・イスラム教の本来の姿を学び、自分の持つイメージとの比較検討ができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・グループワークや討論において積極的に参加している。
二年（実践力養成期）	1	第7章 ヨーロッパ世界の変容と展開 ・西ヨーロッパの封建社会とその展開、東ヨーロッパ世界の展開、西ヨーロッパ世界の変容、中世文化	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	【知識・技能】 ・歴史的用語の理解と説明ができる。 ・歴史の流れを説明できる。 【思考・判断・表現】 ・十字軍がもたらした影響を文献から読み解くことができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・グループワークや討論において積極的に参加している。
	2	第8章 東アジア世界の展開とモンゴル帝国 ・アジア諸地域の自立化と宋、モンゴルの大帝 第9章 大交易・大交流の時代 ・アジア交易世界の興隆、ヨーロッパの海洋進出とアメリカ大陸の変容	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	【知識・技能】 ・歴史的用語の理解と説明ができる。 ・歴史の流れを説明できる。 【思考・判断・表現】 ・モンゴル帝国が与えた世界的影響を考察できる。 ・ヨーロッパによる銀の世界的流通が中国に与えた影響について考察できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・グループワークや討論において積極的に参加している。
	3	第10章 アジアの諸帝国の繁栄 ・オスマン帝国とサファヴィー朝、ムガル帝国、清代の中国と隣接諸地域	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	【知識・技能】 ・歴史的用語の理解と説明ができる。 ・歴史の流れを説明できる。 【思考・判断・表現】 ・「世界の一体化」の中でのアジアの広大な領土をもつ諸帝国について考察できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・グループワークや討論において積極的に参加している。

	評価の観点内容	評価方法
知識・技能	歴史用語とその内容を理解できるか、それらの関連の流れとして論理的に捉えることができるか、歴史資料や統計資料・地図等を活用し、必要な情報を入手できたか。論理的な展開で説明できるか。	・定期考査 ・小テスト
思考・判断・表現	現代や身近な物事と比較しながら世界史を学ぶことの意義と必要性を考えようとしたか。また、歴史上の事象における選択の場面で、どういう選択がどのような結果をもたらすか考えることができたか。工夫して、わかりやすく自分の考え等を説明する力を身に付けることができたか。	・定期考査等での記述式問題 ・授業での発表、発言、疑問点の指摘
主体的に学習に取り組む態度	グループワークや討論等協働的な活動を通して、積極的に学ぼうとする姿勢が見られたか。歴史を学ぶことを、人間としての成長に繋げることができたか。協働して学ぶ姿勢や態度を習得できたか。	・授業ノートや考査の訂正ノート等の成果物 ・授業や考査に関する自己評価シート

使用教科書	高等学校 公共(第一学習社)	副教材等	公共ノート(第一学習社)
学習の到達目標		人間と社会の在り方についての見方・考え方を働かせ、現代の諸課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を育成する。	

学年	学期	月	単元名	基礎力				思考力				実践力				活動内容・評価規準		
				力挨拶・礼儀(基礎人間)	と思考・実践の材料や根拠となる学力(知識)	コミュニケーション能力	情報収集力	想像力・未来を予測する力	課題を発見する力	力客観的に物事を見つめる(メタ認知)	論理的思考力	情報分析力(批判的シンキング)	創造する力	情報発信力	課題を解決する力		設未計力を切り拓くキャリア	主体的な行動力
二年(基礎力養成期)	一学期	4	第1編 公共の扉 第1章 公共的な空間をつくる私たち 第2章 公共的な空間における人間としてのあり方生き方 第3章 公共的な空間における基本的原理	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	<p>【主】社会に参画する自立した主体とは、孤立して生きるのではなく、地域社会などのさまざまな集団の一員として生き、他者との協働により当事者として国家・社会などの公共的な空間を作る存在であることを学ぶ。</p> <p>【知技】古今東西の先人の取り組み、知恵などを踏まえ、社会に参画する際の選択・判断するための手掛かりとなる概念や理論を理解する。</p> <p>【知技】古今東西の先人の取り組み、知恵などを踏まえ、公共的な空間における基本的原理を理解する。</p> <p>【知技】憲法の下、適正な手続きに則り、法や規範に基づいて各人の意見や利害を公平・公正に調整し、個人や社会の紛争を調停、解決することなどを通して、権利や自由が保障、実現され、社会の秩序が形成、維持されていくことについて理解する。</p> <p>【知技】契約が対等な当事者間の合意といえるための条件を理解する。</p> <p>【思判表】個人や社会の紛争を法に基づいて公正に解決するために必要なしくみと、国民が果たすべき責任を考える。</p>
		5	第2編 自立した主体としてよりよい社会の形成に参画する私たち	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	<p>【知技】憲法の下、適正な手続きに則り、法や規範に基づいて各人の意見や利害を公平・公正に調整し、個人や社会の紛争を調停、解決することなどを通して、権利や自由が保障、実現され、社会の秩序が形成、維持されていくことについて理解する。</p> <p>【知技】契約が対等な当事者間の合意といえるための条件を理解する。</p> <p>【思判表】個人や社会の紛争を法に基づいて公正に解決するために必要なしくみと、国民が果たすべき責任を考える。</p>
		6	第1章 法的な主体となる私たち 主題2 契約と消費者の権利・責任 主題3 司法参加の意義 1裁判所と人権保障	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	<p>【知技】憲法の下、適正な手続きに則り、法や規範に基づいて各人の意見や利害を公平・公正に調整し、個人や社会の紛争を調停、解決することなどを通して、権利や自由が保障、実現され、社会の秩序が形成、維持されていくことについて理解する。</p> <p>【知技】契約が対等な当事者間の合意といえるための条件を理解する。</p> <p>【思判表】個人や社会の紛争を法に基づいて公正に解決するために必要なしくみと、国民が果たすべき責任を考える。</p>
	二学期	9	第2章 政治的な主体となる私たち 主題4 政治参加と公正な世論の形成	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	<p>【知技】よりよい社会は、憲法の下、個人が議論に参加し、意見や利害の対立状況を調整して合意を形成することなどを通して築かれるものであることについて理解する。</p> <p>【思判表】民主政治を推進するために、私たちが果たすべき責任を考える。</p>
		10	主題6 日本の安全保障と防衛 主題7 国際社会の変化と日本の役割	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	<p>【知技】日本国憲法の平和主義の下、私たちが果たすべき責任を理解する。</p> <p>【思判表】国際社会を実現するために必要な日本の役割を考察する。</p>
		11	第3章 経済的な主体となる私たち 主題8 雇用と労働問題 主題9 社会の変化と職業観	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	<p>【知技】公正な自由な経済活動の成果を適切に配分し、国民の向上に寄与したりする役割を政府などが担っていること及びより活発な経済活動と個人の尊重を共に成り立たせることが必要であることについて理解する。</p> <p>【知技】少子高齢化による労働力不足が問題となる中、活発な経済活動と労働者の働きやすさを共に成り立たせるために必要なことを理解する。</p>
三年(思考力養成期)	1	主題10 市場経済の機能と限界 主題11 金融のはたらき	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	<p>【知技】公正で自由な経済活動を通して、市場が効率的な資源配分を実現できるしくみを理解する。</p> <p>【思判表】経済において、金融市場はどのような役割を果たしているのかを考える。</p>	
	2	主題12 財政の役割と社会保障	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	<p>【思判表】少子高齢化が進む中で、財政や社会保障を持続可能なものにするために、政府はどのような役割を果たしていくべきなのかを考える。</p>	
	3	主題13 経済のグローバル化	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	<p>【思判表】経済がグローバル化する中で、貧困や格差などの問題を取りこみ、すべての人が幸福に暮らすために、国際社会や私たちがどうあるべきか考える。</p>	
三年(思考力養成期)	1	主題12 財政の役割と社会保障	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	<p>【思判表】少子高齢化が進む中で、財政や社会保障を持続可能なものにするために、政府はどのような役割を果たしていくべきなのかを考える。</p>	
	2	主題13 経済のグローバル化	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	<p>【思判表】経済がグローバル化する中で、貧困や格差などの問題を取りこみ、すべての人が幸福に暮らすために、国際社会や私たちがどうあるべきか考える。</p>	
	3	第3編 持続可能な社会づくりの主体となる私たち	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	<p>【主】持続可能な地域、国家・社会及び国際社会づくりに向けた役割を担う。公共の精神をもった自立した主体となることに向けて、幸福、正義、公正などに着目して、現代の諸課題を探究する活動を行う。</p>	

	評価の観点内容	評価方法
知識・技能	現代の諸課題を捉え考察し、選択・判断するための手掛かりとなる概念や理論について理解するとともに、諸資料から、倫理的主体などとして活動するために必要となる情報を適切かつ効果的に調べまとめている。	
思考・判断・表現	現実社会の諸課題の解決に向けて、選択・判断の手掛かりとなる考え方や公共的な空間における基本的原理を活用して、事実を基に多面的・多角的に考察し公正に判断したり、合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論したりしている。	
主体的に学習に取り組む態度	よりよい社会の実現を視野に、国家及び社会の担い手として、現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。	

使用教科書	新詳地理探究(帝国書院)	副教材等	図説地理資料(世界の諸地域NOW2023) 新地理研究ノート(啓隆社)
学習の到達目標	社会的事象の地理的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を次のとおり育成することを目指す。		

学期	月	単元名	基礎力			思考力					実践力					活動内容・評価基準	
			関係力 (礼儀・基礎人)	識見力 (基礎知識)	コミュニケーション力	情報収集力	想像力・未来を予測する力	課題を発見する力	客観的に物事を見つめる力	論理的思考力	情報力 (批判的・創造的)	情報発信力	課題を解決する力	リソースを切り拓く力	主体的な行動力		協働力 (ムラサキ)
一学期	4	第1部第4章 村落と都市 都市・居住問題	○	○	○		○	○	○			○			○		(知識・技能) 村落や都市に関わる諸事象について理解している。 (思考・判断・表現) 村落や都市に関連する地球的課題の要因を多面的・多角的に考察している。 (主体的に学習に取り組む態度) 村落や都市における課題を主体的に追究しようとしている。
	5	第1部第5章 生活文化・民族・宗教 民族と宗教 国家 民族・領土問題		○		○		○	○			○	○		○		(知識・技能) 生活文化、民族・宗教に関わる諸事象について理解している。 (思考・判断・表現) 生活文化、民族・宗教に関する地球的課題の要因を多面的・多角的に考察している。 (主体的に学習に取り組む態度) 生活文化、民族・宗教における課題を主体的に追究しようとしている。
	6	第部・現代世界の地誌的考察 東アジア 東南アジア		○	○	○		○	○			○			○		(知識・技能) 東アジア・東南アジアの特徴や課題について理解している。 (思考・判断・表現) 東アジア・東南アジアの特色や課題などを多面的・多角的に考察し、表現している。 (主体的に学習に取り組む態度) 東アジア・東南アジアについて、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。
	7	第III部 現代世界の地誌的考察 南アジア 西アジア	○	○	○		○	○	○			○	○		○		(知識・技能) 南アジア・西アジアの特徴や課題について理解している。 (思考・判断・表現) 南アジア・西アジアの特色や課題などを多面的・多角的に考察し、表現している。 (主体的に学習に取り組む態度) 南アジア・西アジアについて、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。
二学期	9	第III部 現代世界の地誌的考察 アフリカ ヨーロッパ	○	○	○		○	○				○			○		(知識・技能) アフリカ・ヨーロッパの特徴や課題について理解している。 (思考・判断・表現) アフリカ・ヨーロッパの特色や課題などを多面的・多角的に考察し、表現している。 (主体的に学習に取り組む態度) アフリカ・ヨーロッパについて、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。
	10	第III部 現代世界の地誌的考察 ロシア アンゴロアメリカ		○	○		○	○				○			○		(知識・技能) ロシア・アンゴロアメリカの特徴や課題について理解している。 (思考・判断・表現) ロシア・アンゴロアメリカの特色や課題などを多面的・多角的に考察し、表現している。 (主体的に学習に取り組む態度) ロシア・アンゴロアメリカについて、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。
	11	第III部 現代世界の地誌的考察 ラテンアメリカ オセアニア	○		○		○	○				○			○	○	(知識・技能) ラテンアメリカ・オセアニアの特徴や課題について理解している。 (思考・判断・表現) ラテンアメリカ・オセアニアの特色や課題などを多面的・多角的に考察し、表現している。 (主体的に学習に取り組む態度) ラテンアメリカ・オセアニアについて、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。
	12	課題研究	○		○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	(主体的に学習に取り組む態度) 地球世界の課題について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとしている。
三学期	1	課題研究	○		○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	(主体的に学習に取り組む態度) 地球世界の課題について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとしている。
	2																
	3																

	評価の観点内容	評価方法
知識・技能	各まとまり、単元で学習する内容の規則性や傾向性、問題の現状や解決に向けた取り組みについて理解している。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 考査 ・ 協働学習 ・ レポートやマインドマップ等
思考・判断・表現	各まとまり、単元で学習する内容の規則性や傾向性、問題の現状や解決に向けた取り組みについて多面的・多角的に考察し、表現している。	
主体的に学習に取り組む態度	各まとまり、単元で学習する内容について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。	

使用教科書	詳説世界史 (山川出版社)	副教材等	アカデミア世界史 (浜島書店)
学習の到達目標	文化の多様性と現代世界の特徴を広い視野から考察することによって、歴史的思考力を培い、国際社会に主体的に生きる日本人としての自覚と資質を養う。		

学年	学期	単元名	基礎力			思考力					実践力				活動内容等				
			関係力 一級 二級 三級 基礎 知識	理解力 一級 二級 三級 基礎 知識	コミュニケーション 力	情報 収集 力	想像 力 ・ 未 来 を 予 想 する 力	課題 を 発 見 する 力	め る 眼 力 ・ 一 事 物 を 多 角 に 考 察 する 力	論 理 的 思 考 力	思 考 力 分 野 ・ 新 シ ン ク ラ ・ グ ラ ・ イ ン フ ル エ ン ス	創 造 する 力	情報 探 集 力	課題 を 解 決 する 力		未 来 を 計 画 力 ・ 拓 く 力	主 体 的 な 行 動 力	一 級 ・ 二 級 ・ 三 級 ・ 基 礎 ・ 知 識	
三年(実践力養成期)	一学期	第11章 近世ヨーロッパ世界の動向 ・ルネサンス、宗教改革、主権国家体制の成立、オランダ・イギリス・フランスの台頭、北欧・東欧の動向、科学革命と啓蒙思想	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	【知識・技能】 ・歴史用語の理解と説明ができる。 ・歴史の流れを説明できる。 【思考・判断・表現】 ・近世のヨーロッパはそれまでの時代と比べ、何が異なっていたのかを考察することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・グループワークや討論において積極的に参加している。	
		第12章 産業革命と環太平洋革命 ・産業革命、アメリカ合衆国の独立と発展、フランス革命とナポレオンの支配、中南米諸国の独立	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	【知識・技能】 ・歴史用語の理解と説明ができる。 ・歴史の流れを説明できる。 【思考・判断・表現】 ・産業革命と市民革命との関係について考察できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・グループワークや討論において積極的に参加している。
		第13章 イギリスの優位と欧米国民国家の形成 ・ウィーン体制とヨーロッパの政治・社会の変動、列強体制の動揺とヨーロッパの再編成、アメリカ合衆国の発展、19世紀欧米文化の展開と市民文化の繁栄	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	【知識・技能】 ・歴史用語の理解と説明ができる。 ・歴史の流れを説明できる。 【思考・判断・表現】 ・国民国家と近代市民社会の形成について考察することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・グループワークや討論において積極的に参加している。
		第14章 アジア諸地域の動揺 ・南アジア地域の変容、南アジア、東南アジアの植民地化、東アジアの激動	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	【知識・技能】 ・歴史用語の理解と説明ができる。 ・歴史の流れを説明できる。 【思考・判断・表現】 ・ヨーロッパ諸国のアジアへの進出に対して、各地の人々がどのように対応したかを考察できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・グループワークや討論において積極的に参加している。
	二学期	第15章 帝国主義とアジアの民族運動 ・第2次産業革命と帝国主義、列強の世界分割と列強体制の二分化、アジア諸国の変容と民族運動	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	【知識・技能】 ・歴史用語の理解と説明ができる。 ・歴史の流れを説明できる。 【思考・判断・表現】 ・帝国主義とは何か、それが諸地域にどのような影響をおよぼしたかを考察することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・グループワークや討論において積極的に参加している。
		第16章 第一次世界大戦と世界の変容 ・第一次世界大戦とロシア革命、ヴェルサイユ体制下の欧米諸国、アジア・アフリカ地域の民族運動 第17章 第二次世界大戦と新しい国際秩序の形成、世界恐慌とヴェルサイユ体制の破綻、第二次世界大戦、新しい国際秩序の形成	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	【知識・技能】 ・歴史用語の理解と説明ができる。 ・歴史の流れを説明できる。 【思考・判断・表現】 ・第一次世界大戦と第二次世界大戦がもたらした世界の変容について考察できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・グループワークや討論において積極的に参加している。
		第18章 冷戦と第三世界の台頭 ・冷戦の展開、第三世界の台頭とキューバ危機、冷戦体制の動揺 第19章 冷戦の終結と今日の世界 ・冷戦構造の変容、冷戦の終結、今日の世界、現代文明の諸相	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	【知識・技能】 ・歴史用語の理解と説明ができる。 ・歴史の流れを説明できる。 【思考・判断・表現】 ・冷戦の終結の過程と冷戦終結後に世界が抱えている課題について考察できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・グループワークや討論において積極的に参加している。
三学期	1 課題研究	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	【思判表】(主)自分の調べたいテーマを設定し、資料収集・分析をおこなって、まとめる。	
	2																		
	3																		

	評価の観点内容	評価方法
知識・技能	歴史用語とその内容を理解できるか、それらの関連を流れとして論理的に捉えることができるか。歴史資料や統計資料・地図等を活用し、必要な情報を入手できたか。論理的な展開で説明できるか。	・授業への取組 ・資料集や問題集、史料 ・提出課題
思考・判断・表現	世界史を学ぶことの意義と必要性を考えようとしたか。また、歴史上の事象における選択の場面で、どういった選択がどのような結果をもたらすか考えることができたか。工夫して、わかりやすく自分の考え等を説明する力を身に付けることができたか。	・定期調査、小テスト ・論述問題 ・ディスカッション ・グループワーク ほか
主体的に学習に取り組む態度	積極的に学ぶ姿勢や態度が見られたか。歴史を学ぶことを、人間としての成長に繋げることができたか。協働して学ぶ姿勢や態度を習得できたか。	

使用教科書	詳述倫理 (実教出版)	副教材等	詳述倫理 演習ノート (実教出版)
<p>学習の到達目標</p> <p>・古今東西の幅広い知的蓄積を通して、現代の諸課題を捉え、より深く思索するための手掛かりとなる概念や理論について理解するとともに、諸資料から、人間としての在り方生き方に関わる情報を調べまとめる技術を身に付けるようにする。(知識・技能)</p> <p>・自立した人間として他者と共によりよく生きる自己の生き方についてより深く思索する力や、現代の倫理的諸課題を解決するために倫理に関する概念や理論などを活用して、論理的に思考し、思索を深め、説明したり対話したりする力を養う。(思考・判断・表現)</p> <p>・人間としての在り方生き方に関わる事象や課題について主体的に追究したり、他者と共によりよく生きる自己を形成しようとしたりする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察やより深い思索を通して涵養される、現代社会に生きる人間としての在り方生き方についての自覚を深める。(主体的に学習に取り組む態度)</p>			

学期	月	単元名	基礎力			思考力					実践力				活動内容・評価規準	
			～ 基礎・ 人間力 ～	批判 的思考 と、 実 践 的 な 力 の 育 成	能 力 の 共 有 化	情 報 取 集 力	思 考 力 の 深 化	課 題 を 発 見 す る 力	多 角 的 に 課 題 を 捉 え る 力	論 理 的 に 課 題 を 捉 え る 力	創 造 的 に 課 題 を 捉 え る 力	情 報 取 集 力	課 題 を 解 決 す る 力	課 題 を 解 決 す る 力		課 題 を 解 決 す る 力
一 学 期	4	第1章 自己形成と自己の生き方														
	5	第2章 人間としての自己														
二 学 期	9	第3章 西洋思想の受容と展開														
	10	第4章 現代と倫理														
三 学 期	1	第5章 現代の諸課題と倫理														

	評価の観点内容	評価方法
知識・技能	○倫理に関する基本的な事項や課題について体系的、総合的に理解し、その知識を身に付けているか。 ○課題にかかわる事柄に関する諸資料をさまざまなメディアから収集し、有用な情報を適切に選択・活用することができるか。	
思考・判断・表現	○現代における諸課題を考察し、それらの本質や特質、さらには望ましい解決の在り方について広い視野に立って多面的、多角的に考察しているか。 ○社会の変化や多様な立場、考え方があつたことを理解した上で公正に判断しているか。 ○考察や判断の過程や結果を多様な方法を駆使して適切に表現しているか。	・授業態度、グループワーク(主体的に学習に取り組む態度) ・課題、グループワーク(知識・技能、思考・判断・表現、主体的に学習に取り組む態度) ・課題別力考査(知識・技能、思考・判断・表現、主体的に学習に取り組む態度) ・定期考査、小テスト(知識・技能、思考・判断・表現、主体的に学習に取り組む態度)
主体的に学習に取り組む態度	○積極的に学ぼうとする姿勢が見られ、社会の諸問題を探究する学び方を身に付けているか。 ○倫理を学ぶことを、人間としての成長に繋げることができたか。協働して学ぶ姿勢や態度を習得できたか。	○現代の諸課題について、主体的に解決しようとする。

